

「あとの回は

イケるよね？」

夫の帰宅前、絶倫義弟に何度もハメ倒される妻



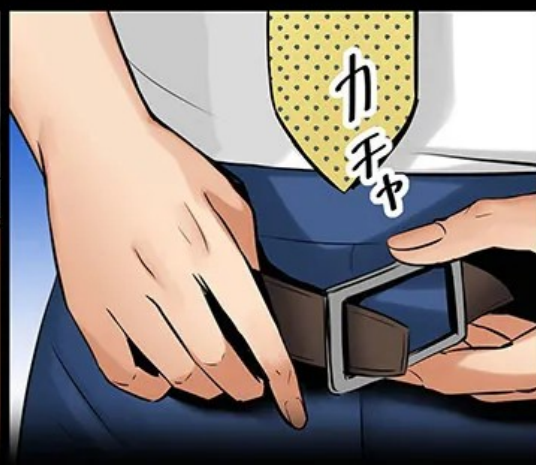




これは...



学さんの誕生日の時の記憶...?



うそ...私...



ギシ

あ

いぢ...

あ

ギッ

ズッ

あ

ギシ



いん...

今更  
やめられないよ!

ゴ...



は

ズッ

ズッ

ん...



ギッ

はあ

はあ

は

ギ



ドクン!

ドクン

ドクン!

望くんに  
無理やり...



あの日…

なんで  
あんなこと  
したの？

記憶…

戻ったんだね

学さんの  
誕生日で…

望くんが家に  
来た時のこと  
だけ…



七海ちゃんを  
想う気持ちには  
本物だから



あんなこととして  
ごめん…

だけど



私は望くんのこと  
信じてたのにつ



ちよっ…



七海ちゃん

落ちて  
着いて…ッ



私が  
思い出せない  
からって…

今まで  
だましてたの？



……ッ



言い出せ  
なくて…

ぎゅっ…



だますつもりは  
なかったんだ…

けど…



七海ちゃんを  
愛してるから

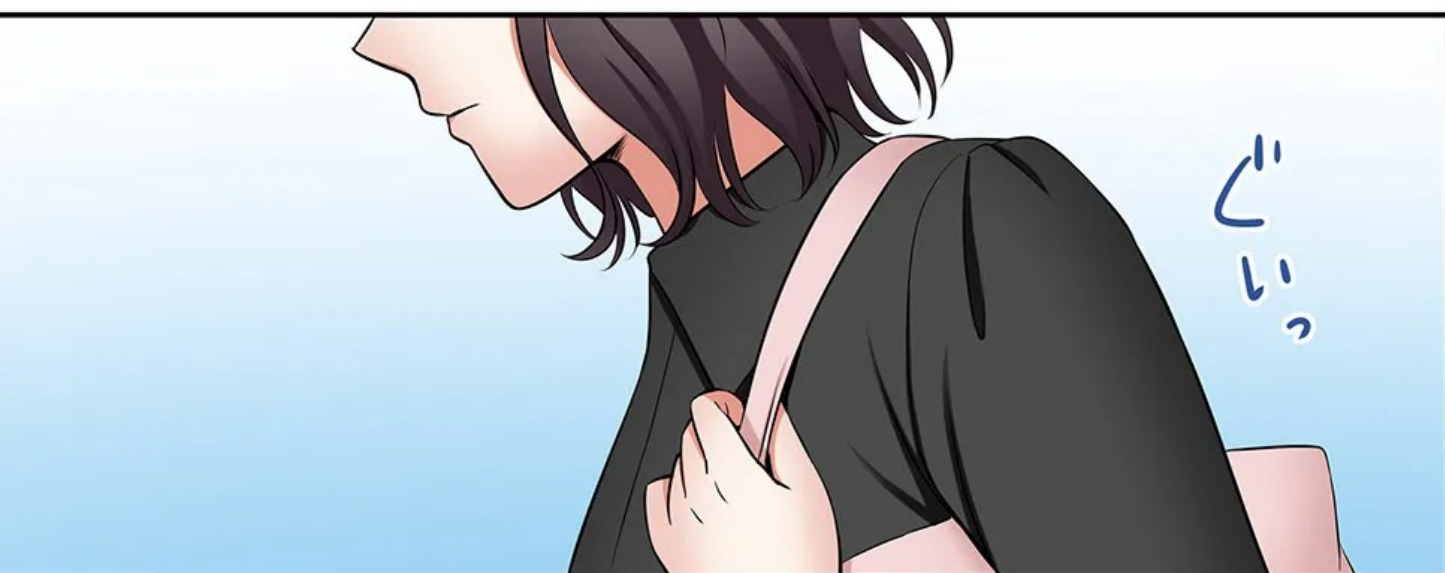
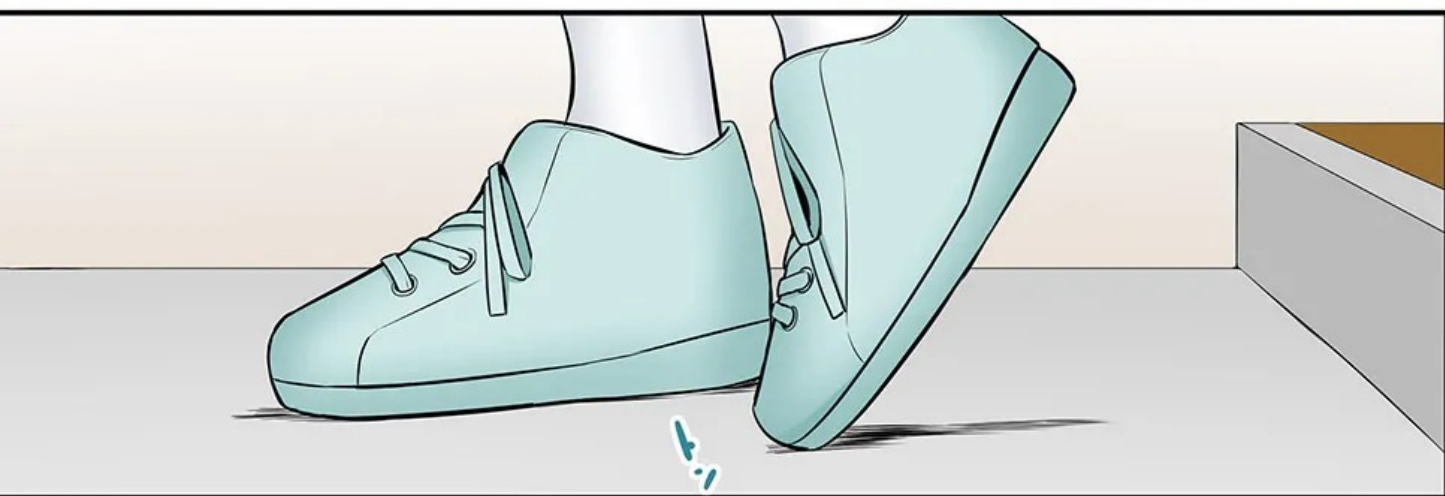


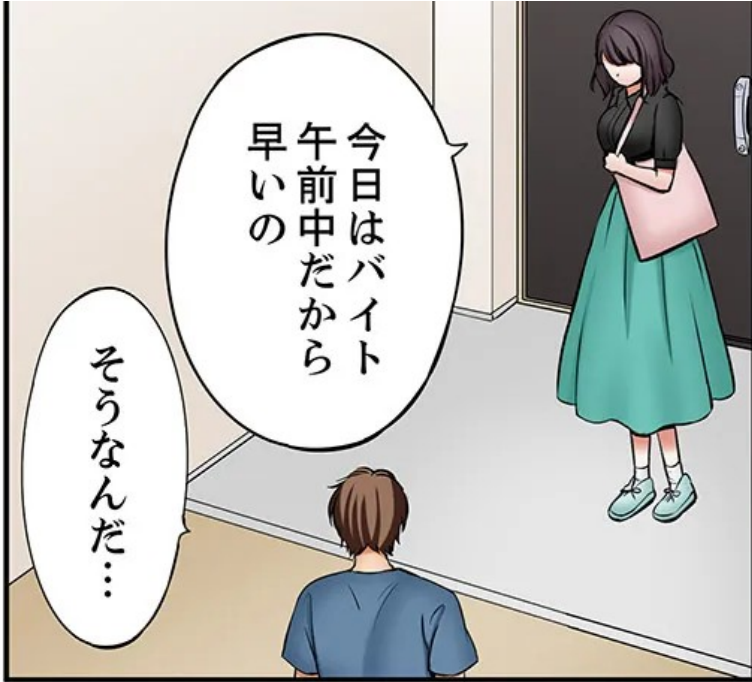
優しくて  
誠実で…

私の知ってる  
望くんは

失いたく  
なかったんだ…!





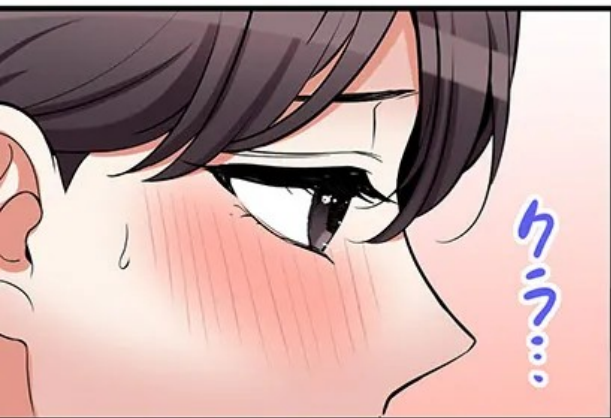




ここに  
帰ってきてね...



お待たせ  
しました...



キラ...



ハアッ  
ハアッ  
ハアッ

ちらっ



あの人  
田村さん  
また来てる...



他に男が  
出来たの？



ストーリーカー  
だったりにして...



正直：  
この人と  
付き合ってたとは思えない...





離れようと  
しなかったのは  
どうして？

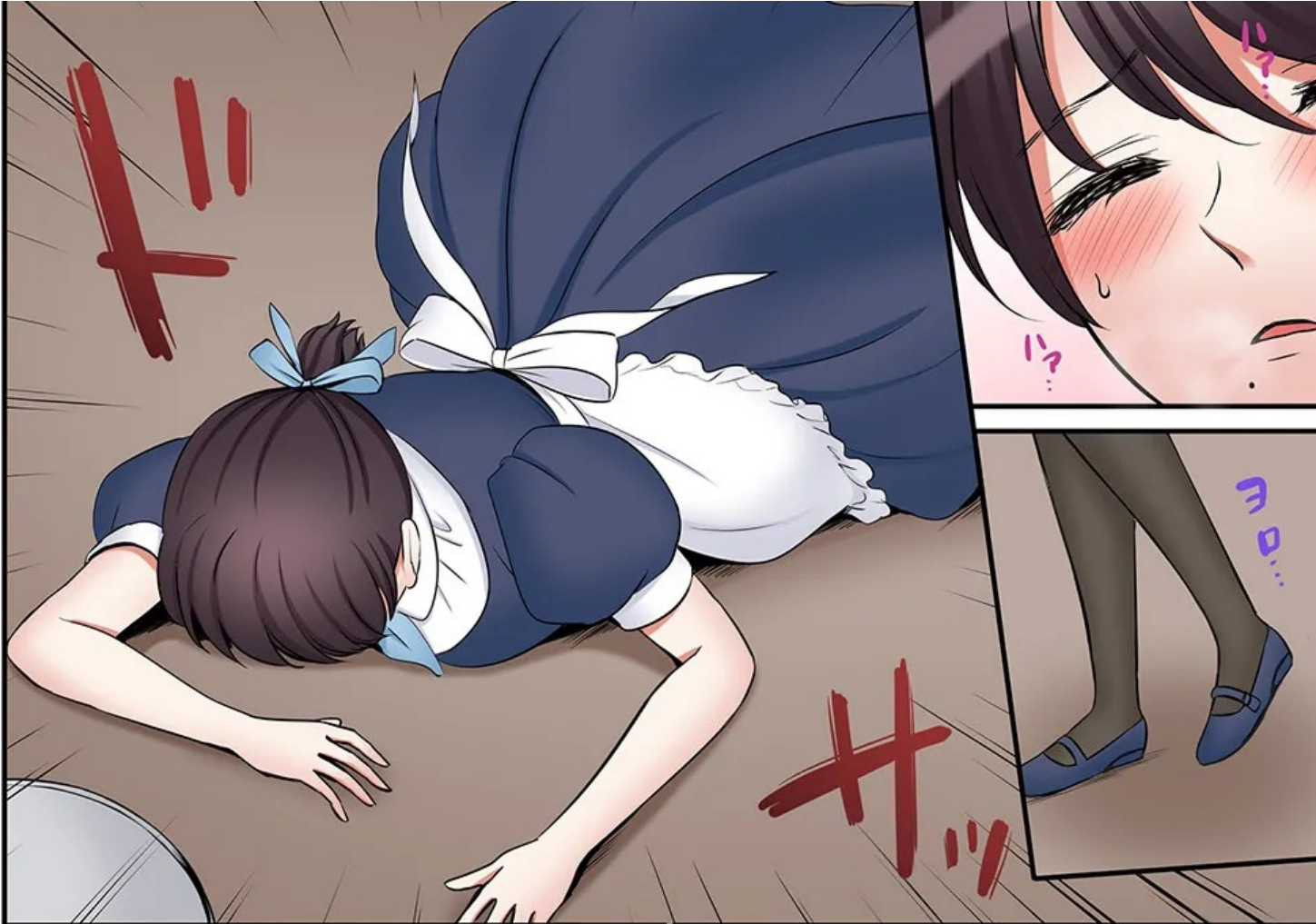
そんなにも  
望くんと  
の絆が  
深かったの…？



七海は  
どんどん  
望に惹かれて  
いつて…



あんなこと  
されたのに





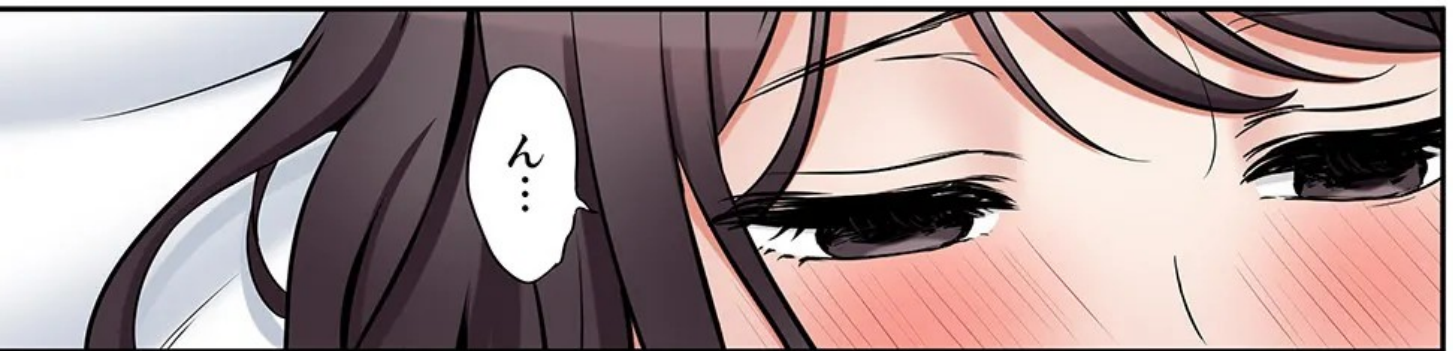
ほんとですか！  
助かりますっ

いい

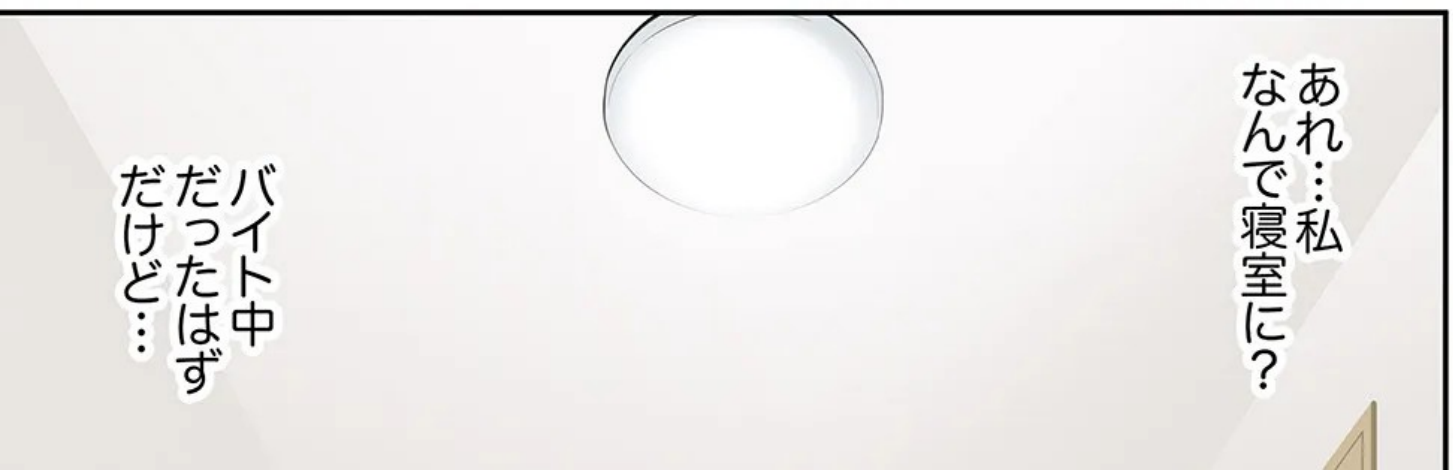


家まで  
送りますよ

僕  
彼女の知り合い  
なんで



ん…



あれ…私  
なんで寝室に？

バイト中  
だったはず  
だけど…







ここが  
君たちの  
愛の巣か…

ムカつく  
なあ



あの時  
藤咲さんが  
寝言で言った  
男のこと  
だったのか…

のぞむくん…



「のぞむくん」

どこかで  
聞いた名前  
だと思ったら



ひびくよ…



僕は君が  
戻ってくるのを  
ずっと  
待ってたのに



藤咲さんッ!!

が

ばっ



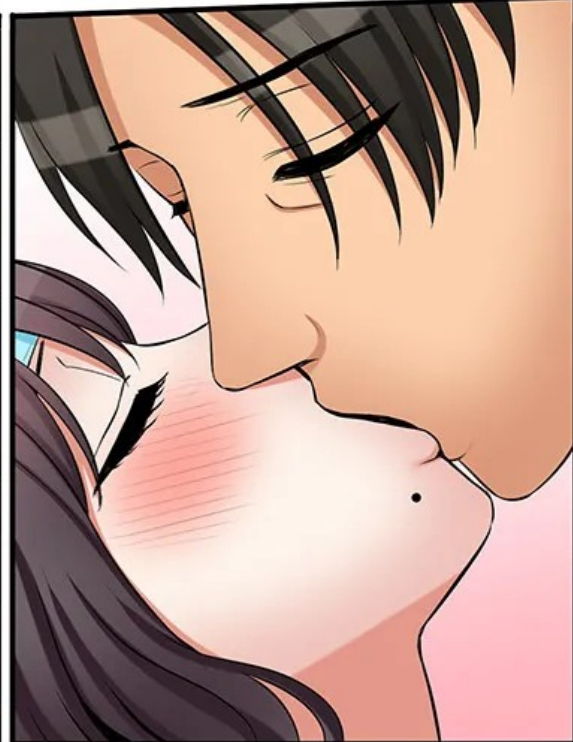
ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

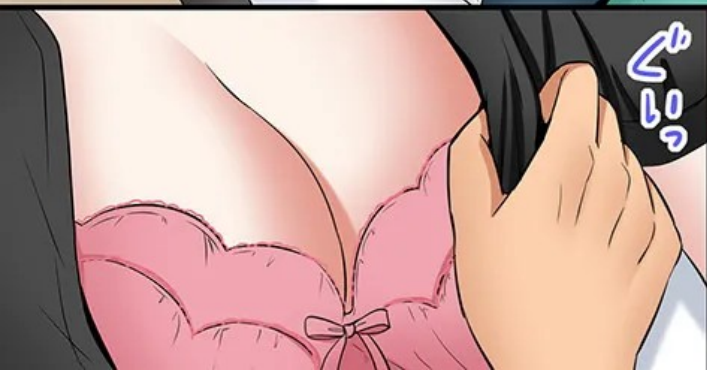
ん...

ぎゅっ



ちゅっ

ちゅっ



ちゅっ



ちゅっ

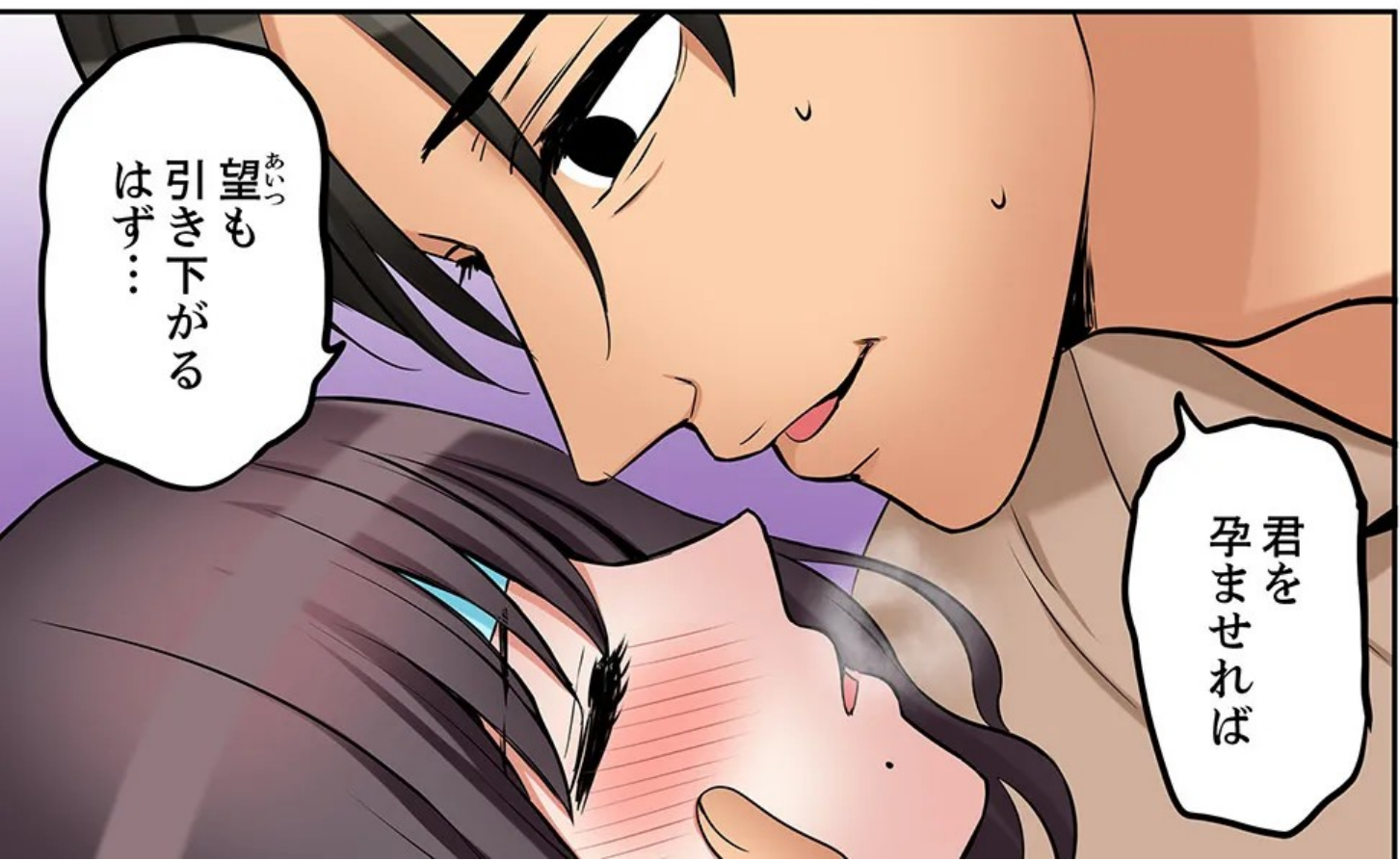
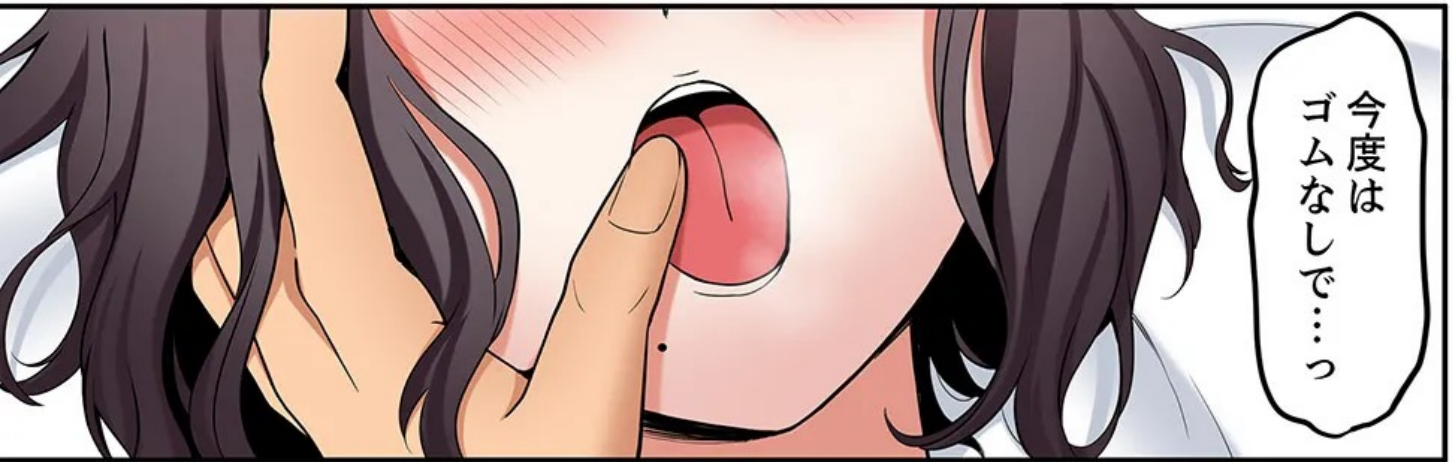
ちゅっ



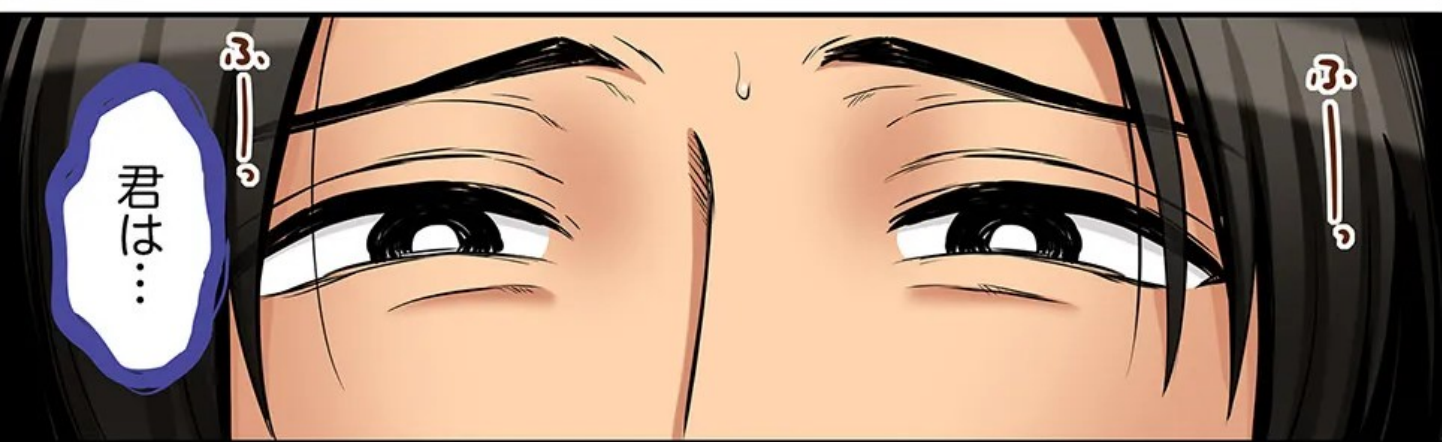
ん...

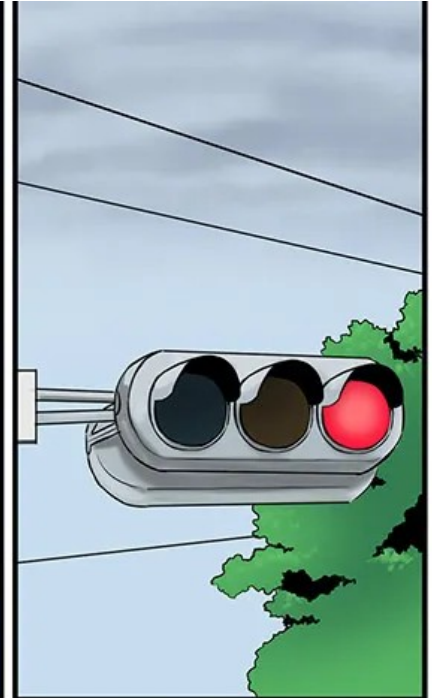
アッ...  
アッ...











七海ちゃんと  
話したい…

# 「あと3回はイケるよね？」 夫の帰宅前、絶倫義弟に何度も ハメ倒される妻61

著者

七色風香

発行

モバイルメディアリサーチ

この物語はフィクションです。  
登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。  
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、  
ホームページ上に転載することを禁止します。  
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。  
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©Fuka Nanashiki/MMR

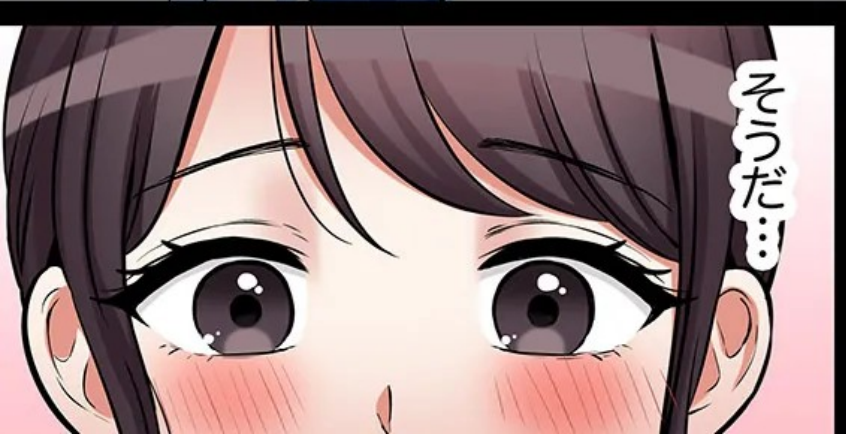
「あとの回は

イケるよね？」

夫の帰宅前、絶倫義弟に何度もハメ倒される妻







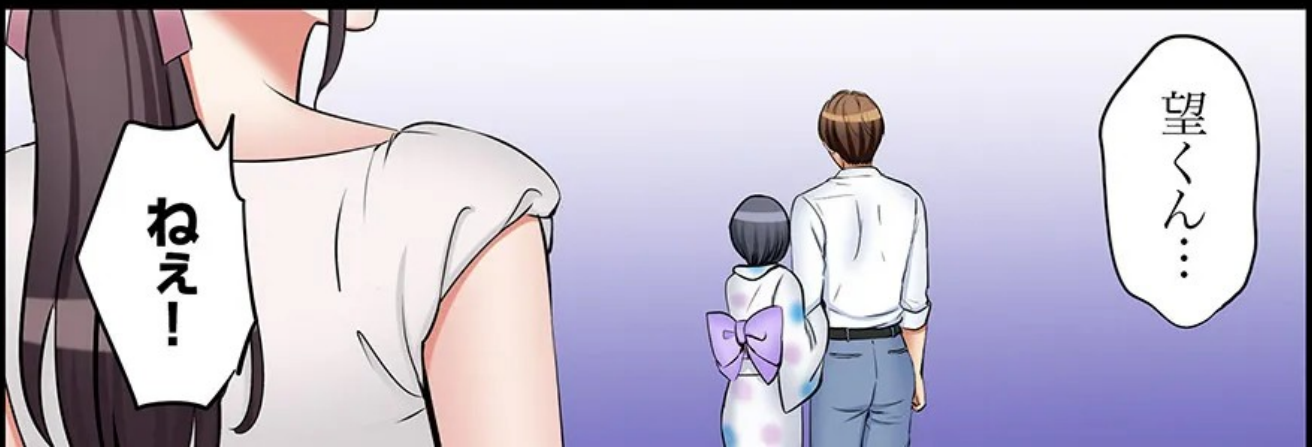
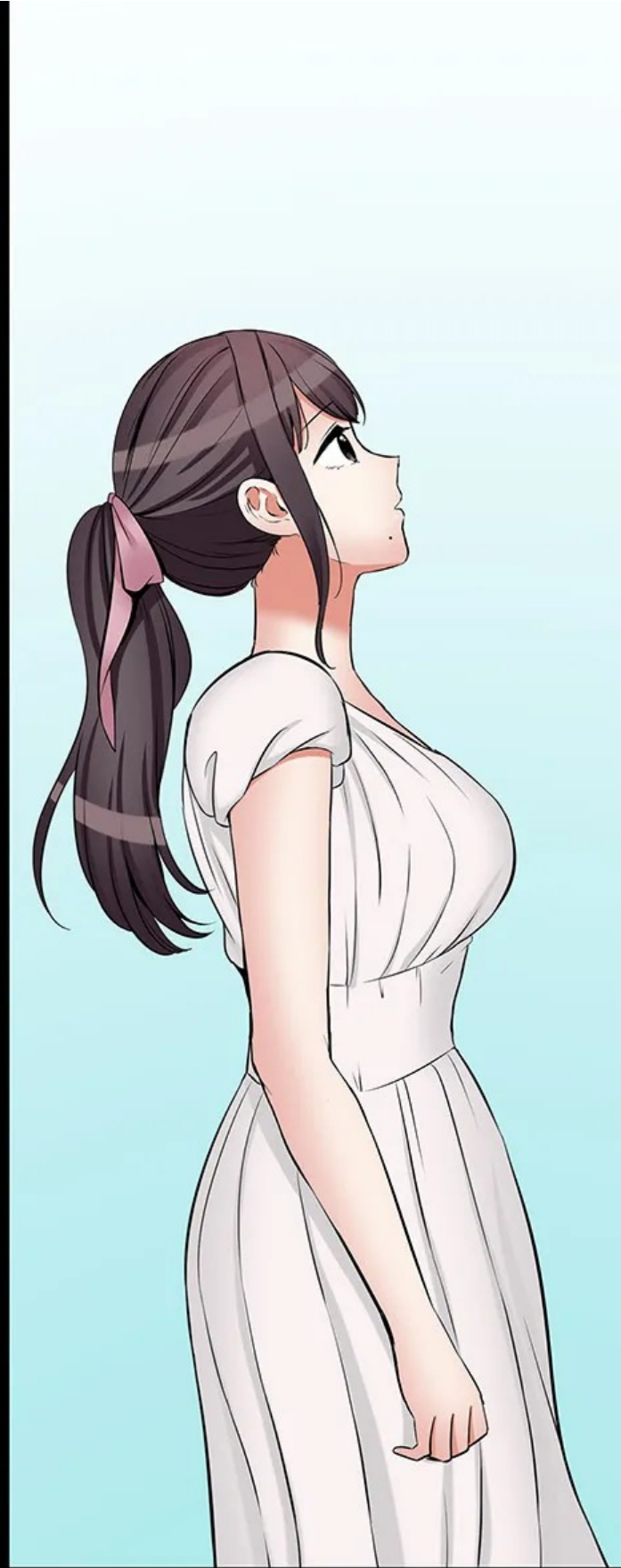


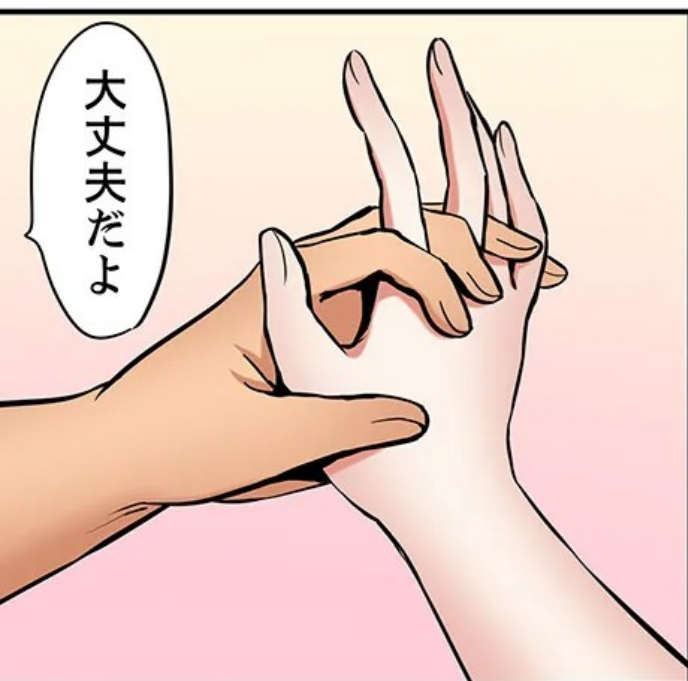
七海ちゃんを  
連れて来れて

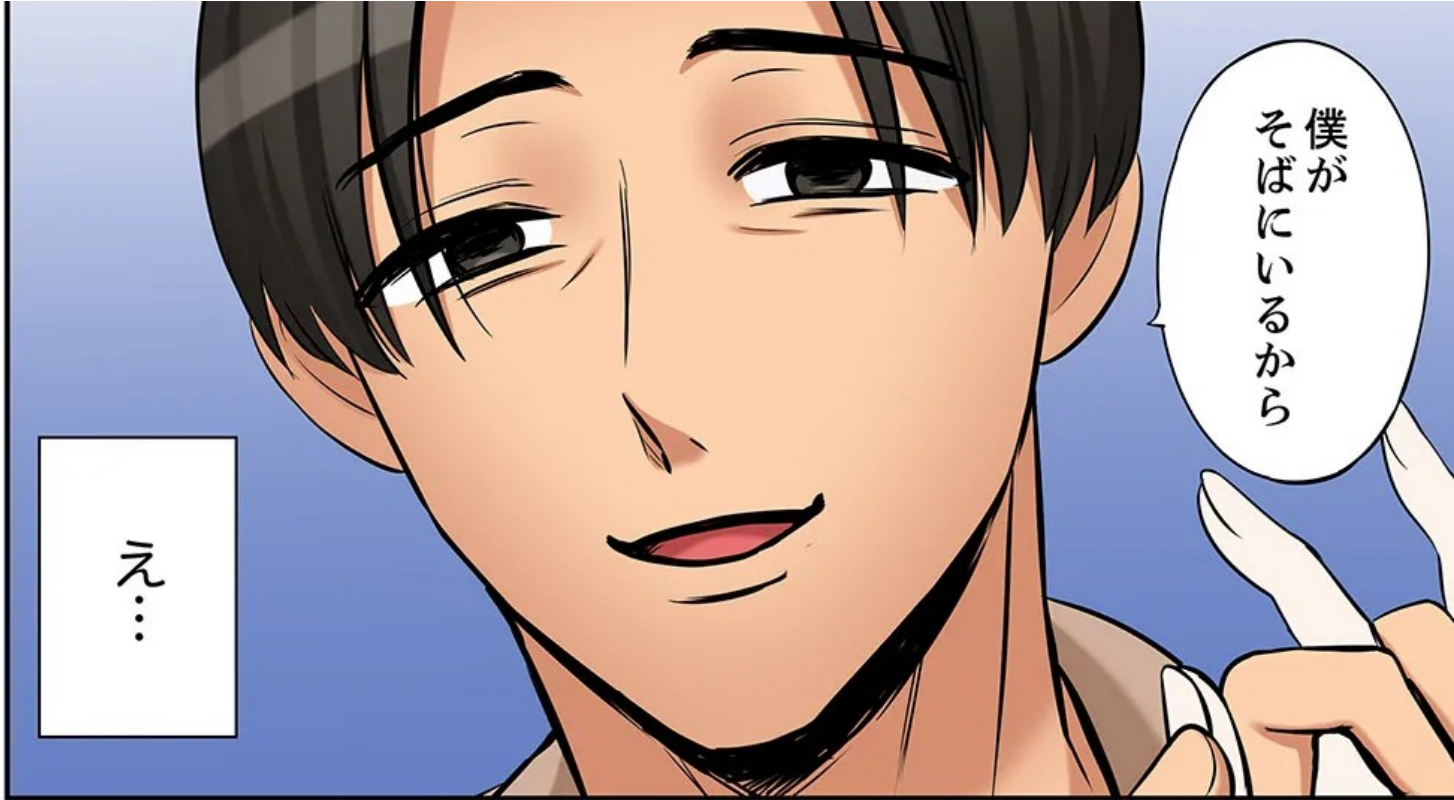
良かったよ











僕がそばにいるから

え…



あ…そっか

ぼー…

私バイト先で熱出して

田村さんに家まで送ってもらったんだ…



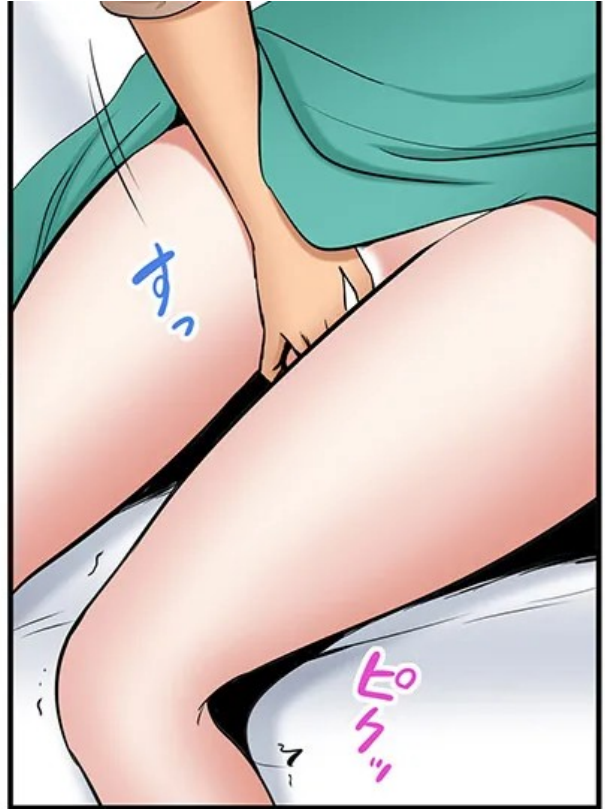
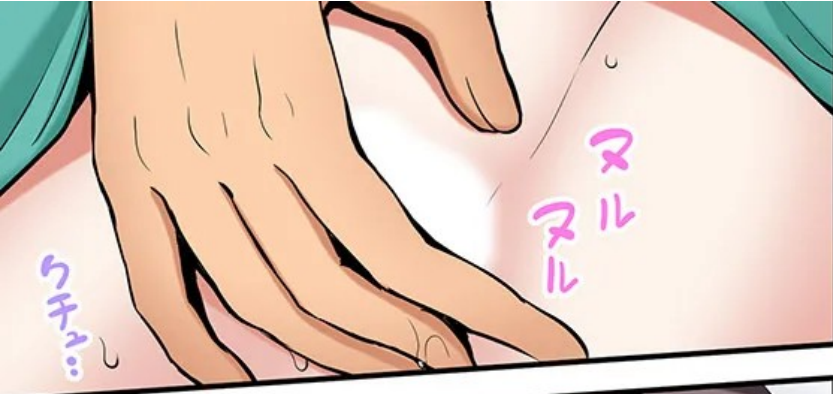
ぞわぞわ



スリ…♡

手柔らかいね







僕は君を  
諦めないよ！



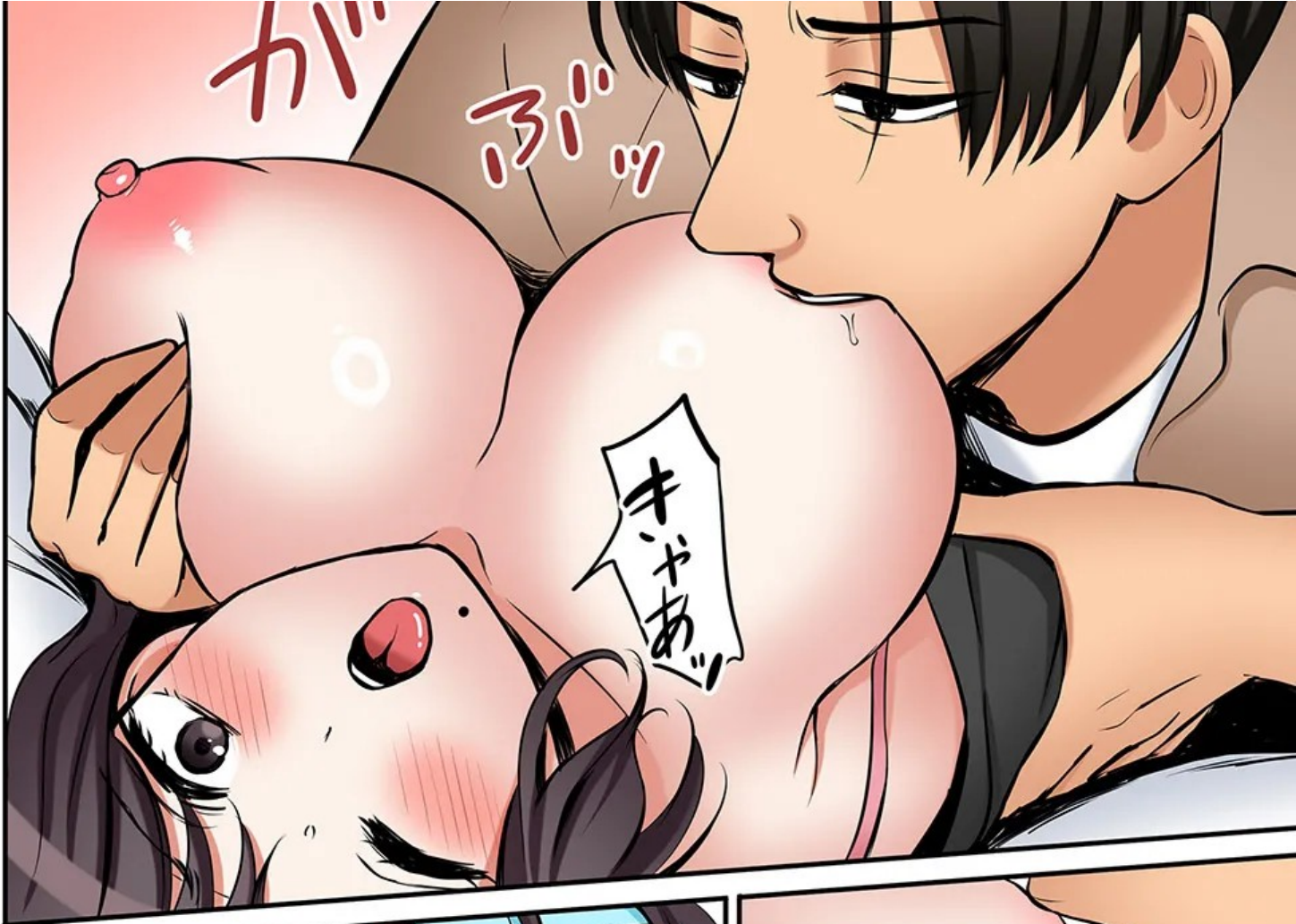
ッ...



...



そんなに  
望という男が  
いいのかい!?





君だつて  
気持ち良さそうに  
喘いでいた  
じゃないか

覚えてはいない  
だらうけど...

あ...ん

あ...



そ...  
そんな...

私この人と



そこまでの  
関係になつてたんだ...

ちゅっ

ビクッ

キュッ

うっ



あ...ん

びく

あ...



いやっ

今はもう…

ギシッ



あ…

ズルッ



ドッ



これから

思い出させて  
あげるよ

カチャッ



恋人だった  
としても



ズキン...



藤咲さん!



起きちゃった...

ズキン

ズキン

ズキン

ズキン



さっきの  
ジュース

睡眠薬入り  
だったんだ

ちゃんと  
ゴムしたから  
安心して

ああ…私

大丈夫かい

この人に  
職場で

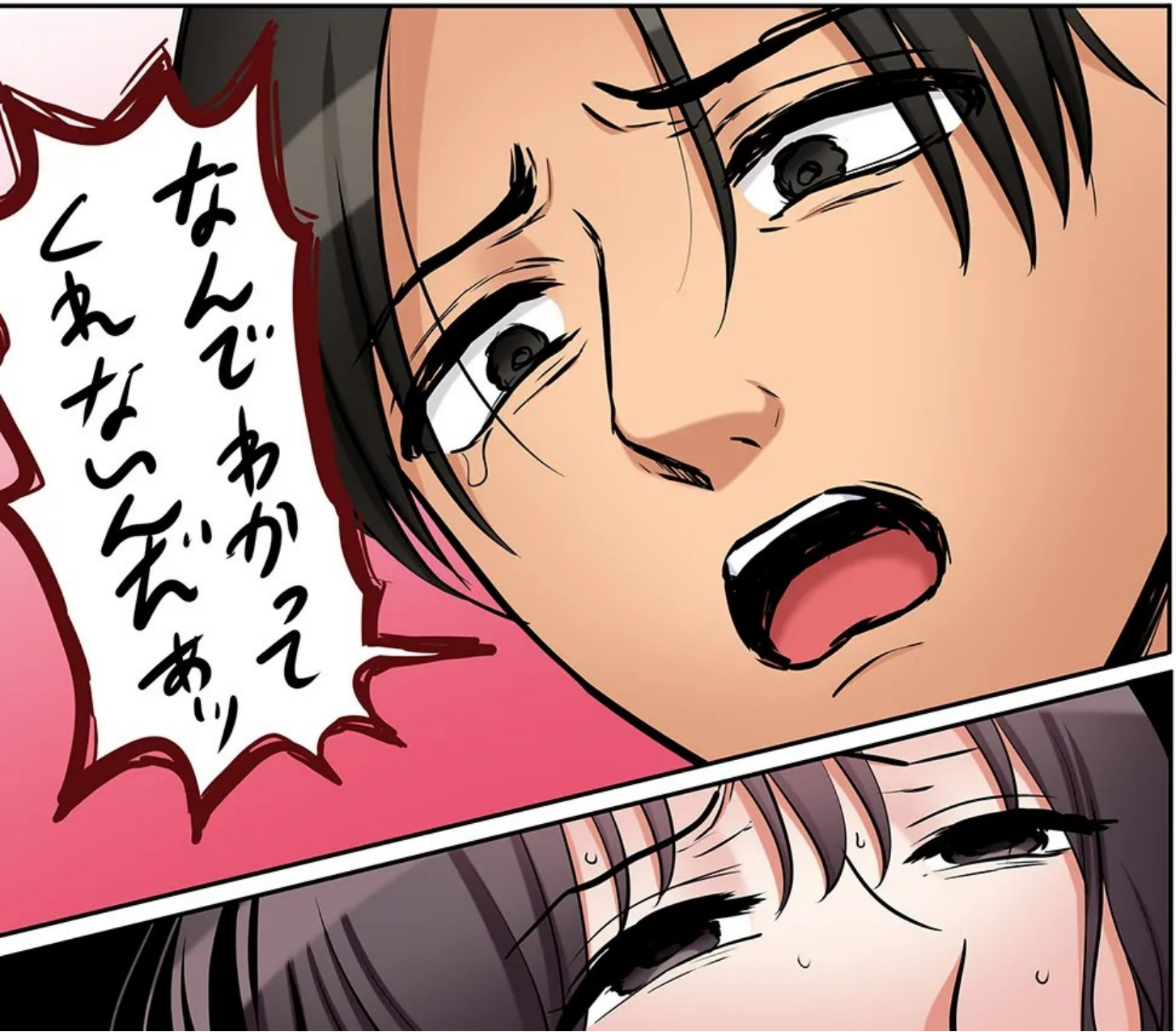
藤咲さん

来ないでっ

!!





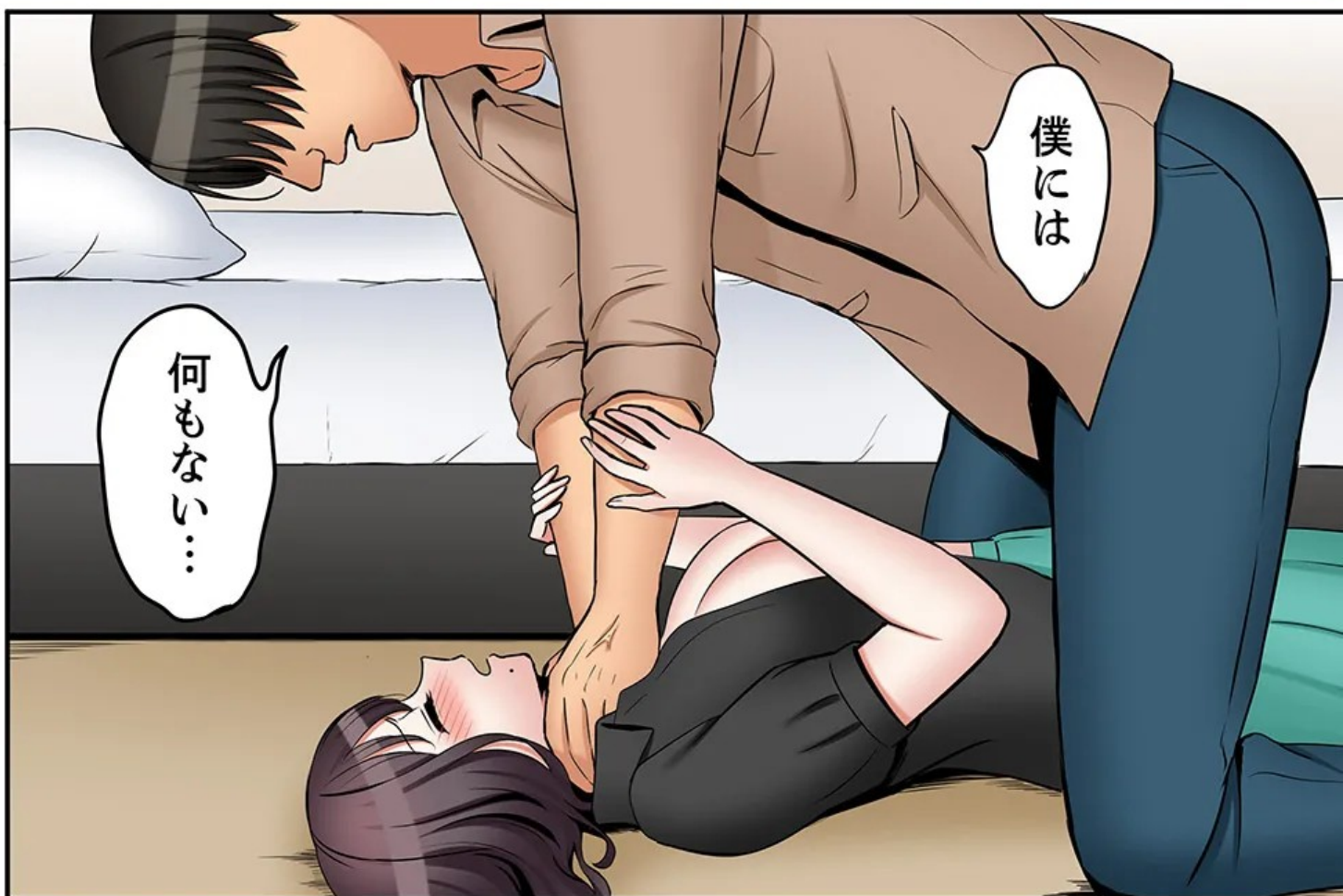




家へ帰っても  
独りぼっち…

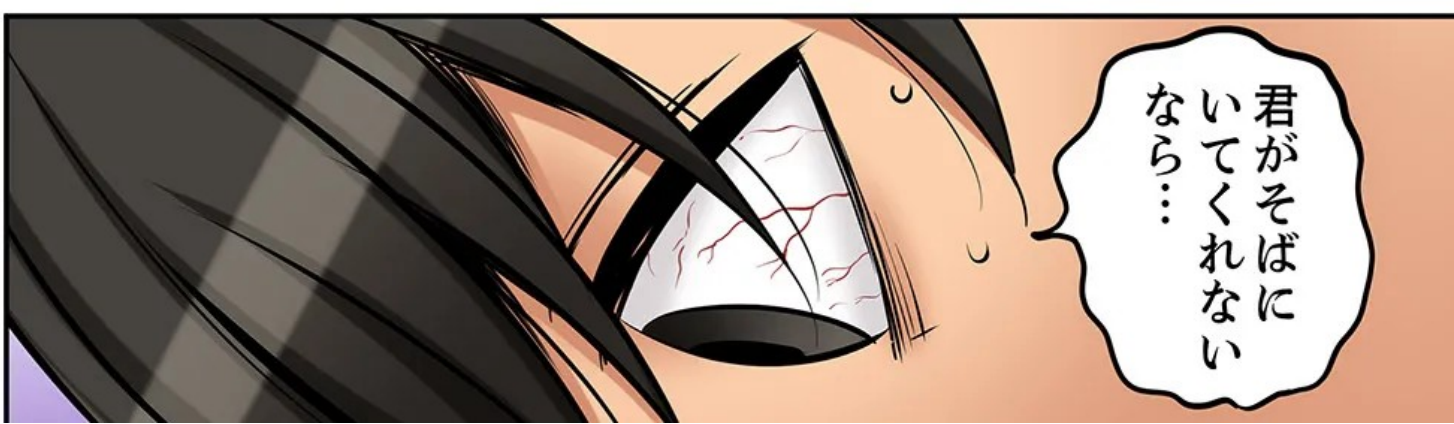


職場では  
部下から  
馬鹿にされ…



僕には

何もない…



君がそばに  
いてくれない  
なら…



か...

かはッ



僕は...ッ

あ...

ギラッ...



う...そ...



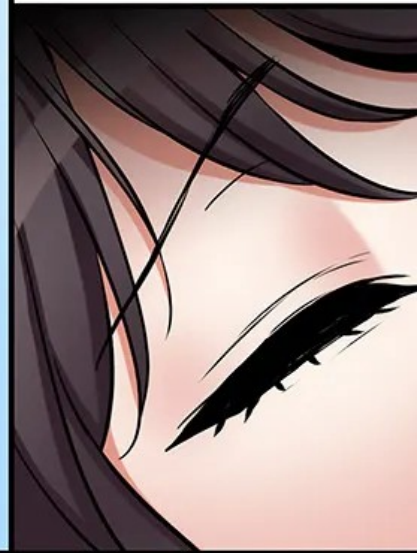
ずる...

終わるの...?



ギ...

こんなじりじり...



今朝望くんに



笑顔で  
「いってきます」って  
言えば良かった…



あれ…？



私…死んだの？



まさか  
こんな終わり方  
するなんて

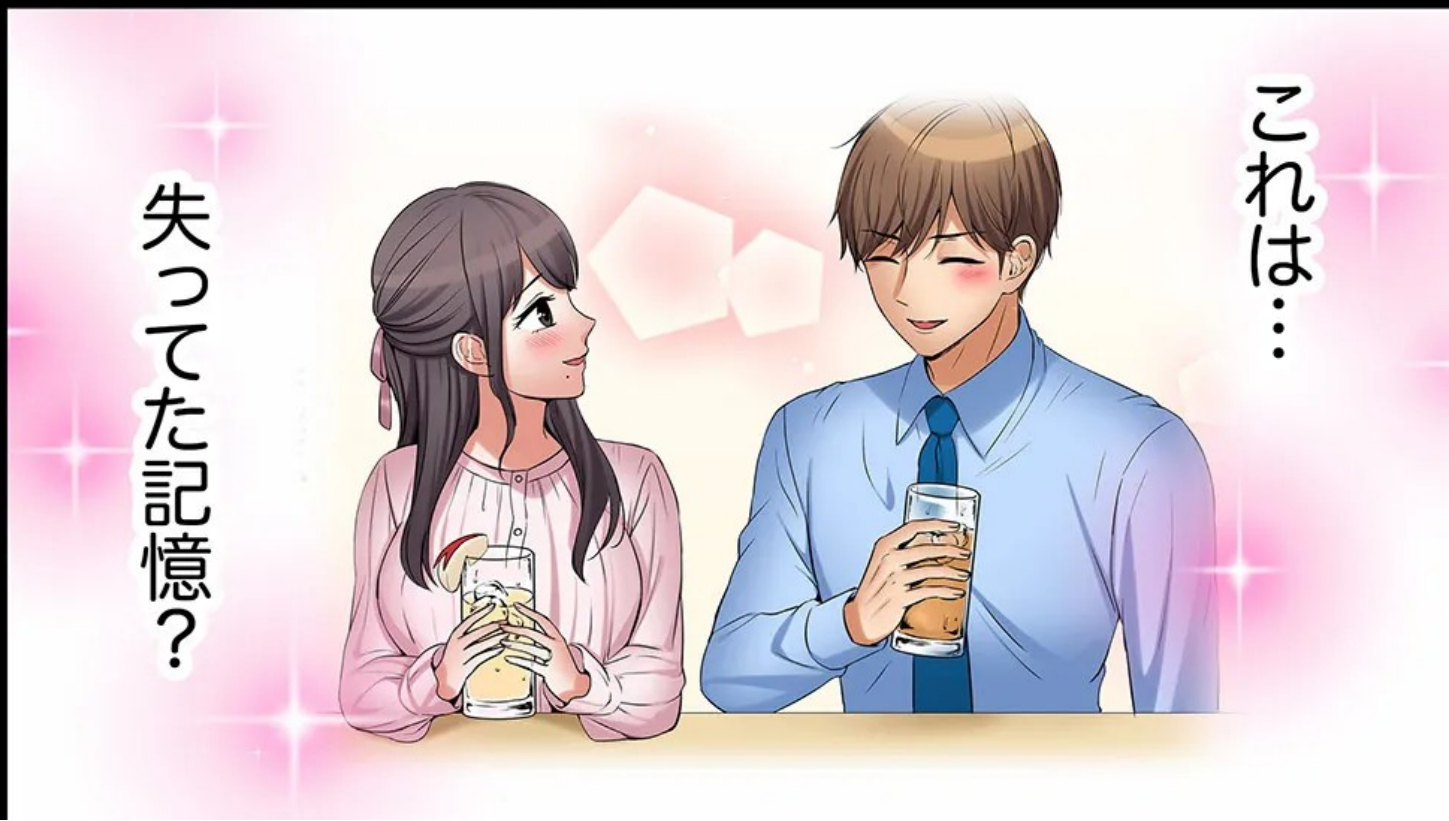
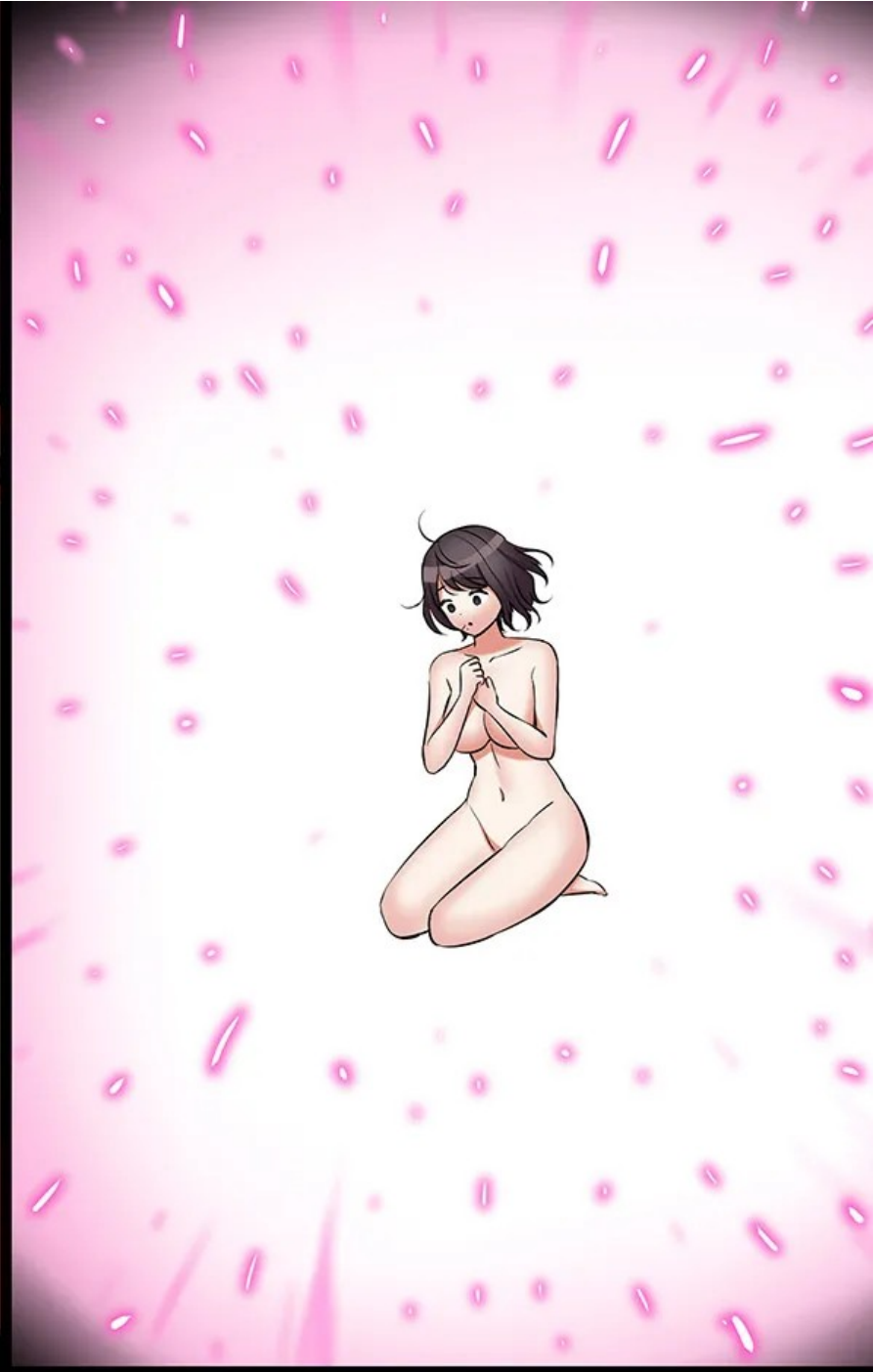


思わなかった…



何…これ？







こんなに

色々なことが  
あったなんて…

ビクッ

びく

やっと全部  
思い出せた…



私…  
自分が思ってた  
よりもずっと



望くんのことが  
大好きだったんだ…



# 「あと3回はイケるよね？」 夫の帰宅前、絶倫義弟に何度も ハメ倒される妻62

著者

七色風香

発行

モバイルメディアリサーチ

この物語はフィクションです。  
登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。  
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、  
ホームページ上に転載することを禁止します。  
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。  
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©Fuka Nanashiki/MMR

「あとの回は

イケるよね？」

夫の帰宅前、絶倫義弟に何度もハメ倒される妻





あの頃の俺は

兄貴を負かしたくて  
必死だった

だから最初は

「兄貴の  
大事なものを」を  
奪いたくて

それだけの  
理由で  
七海ちゃんに  
近づいた

望くん

ダメ  
だってば…

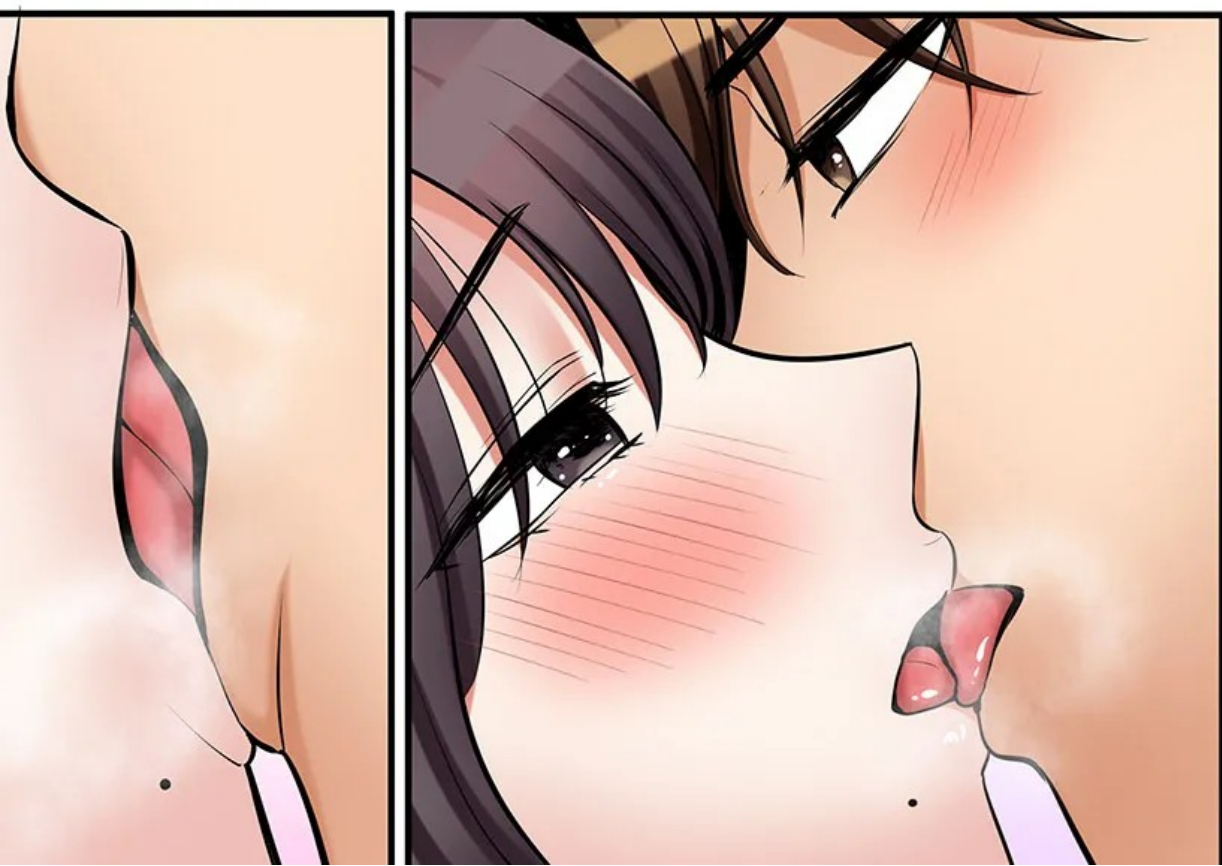
あ…

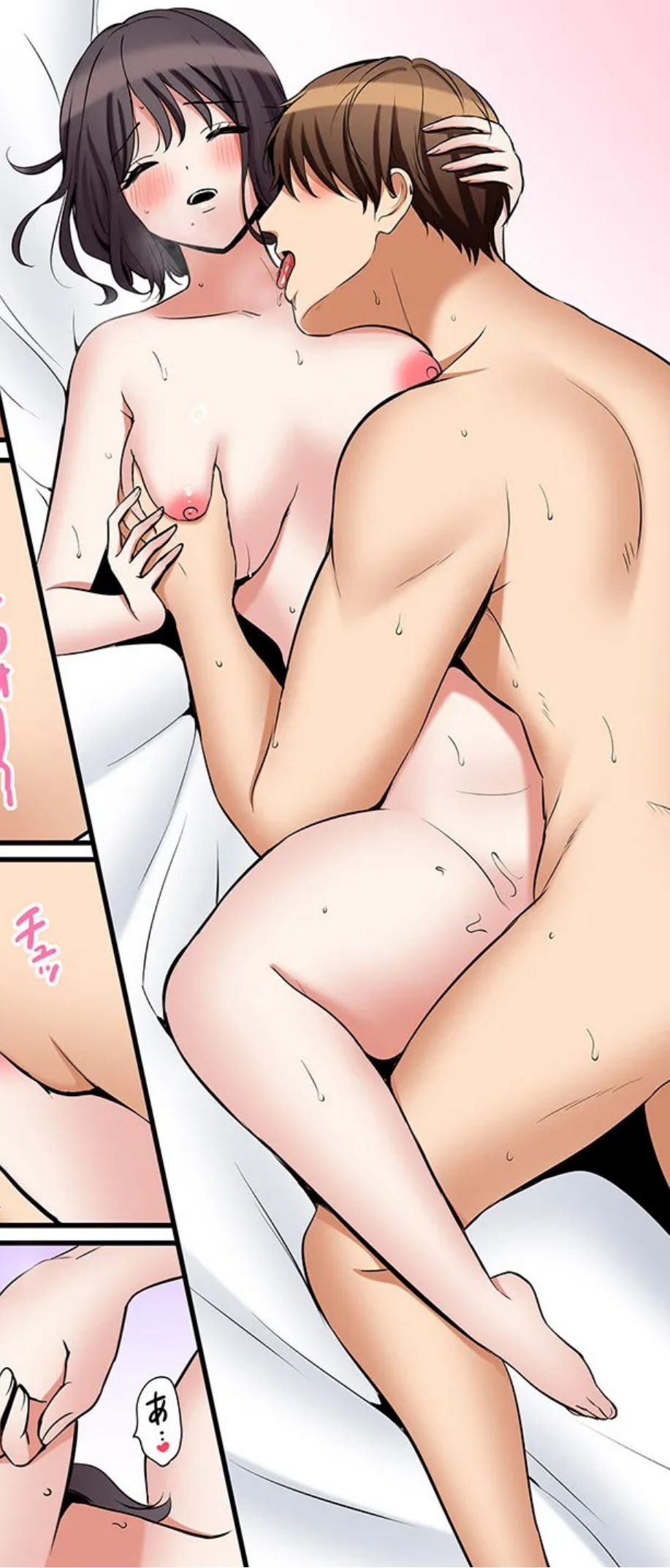
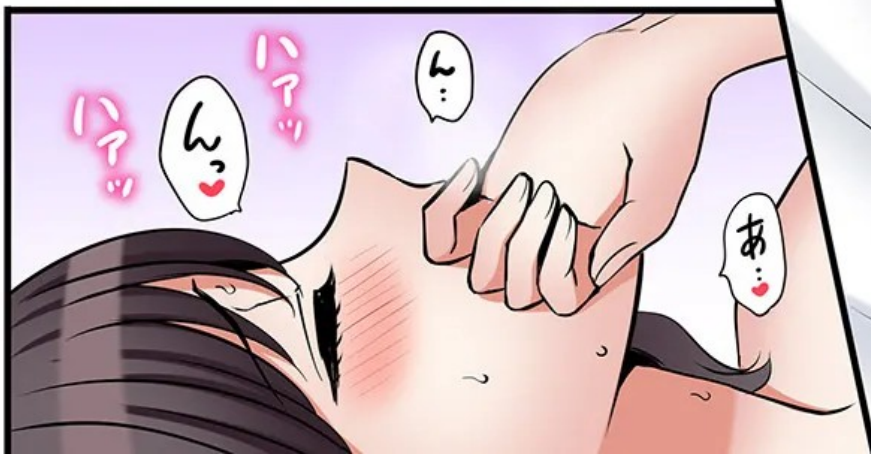
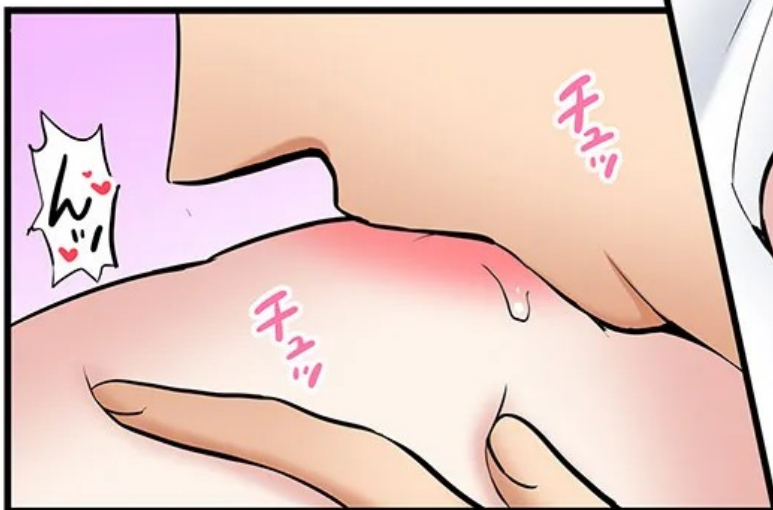


兄貴の  
悔しがる顔が  
見たかった

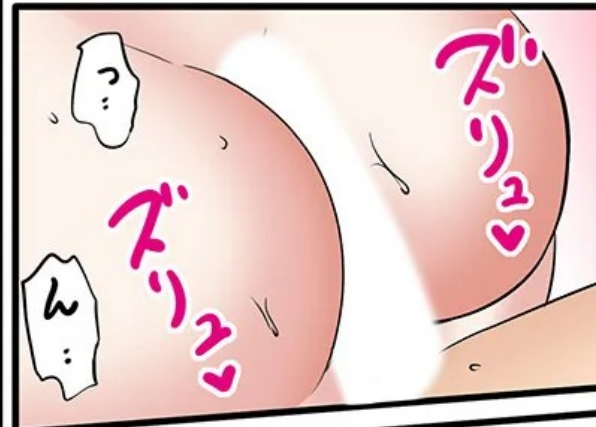


だけど…今は違う













望くん...



君を幸せにしたいし

笑顔が毎日見たい



七海ちゃんが

ギュウッ

愛しくてたまらない

泣いていると  
俺も悲しいんだ

わかってもらえるまで

七海ちゃんが  
納得できるまで...

そのことを  
ちゃんと伝えよう

何度だって







あれ…？



がぼっ

私…

生きてる…



絶対に  
許さない！



離してよ

こいつ  
七海ちゃんを…



やめてっ…！

がっ



ダメ！

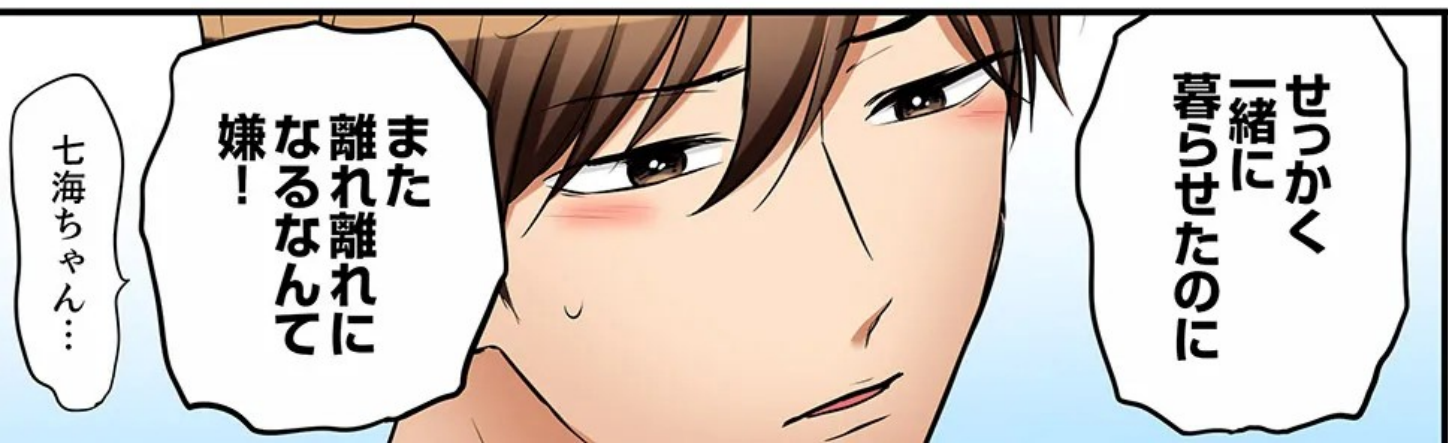
手を出したら  
望くんも  
悪くなっちゃう



せっかく  
一緒に  
暮らせたのに

また  
離れ離れに  
なるなんて  
嫌！

七海ちゃん…





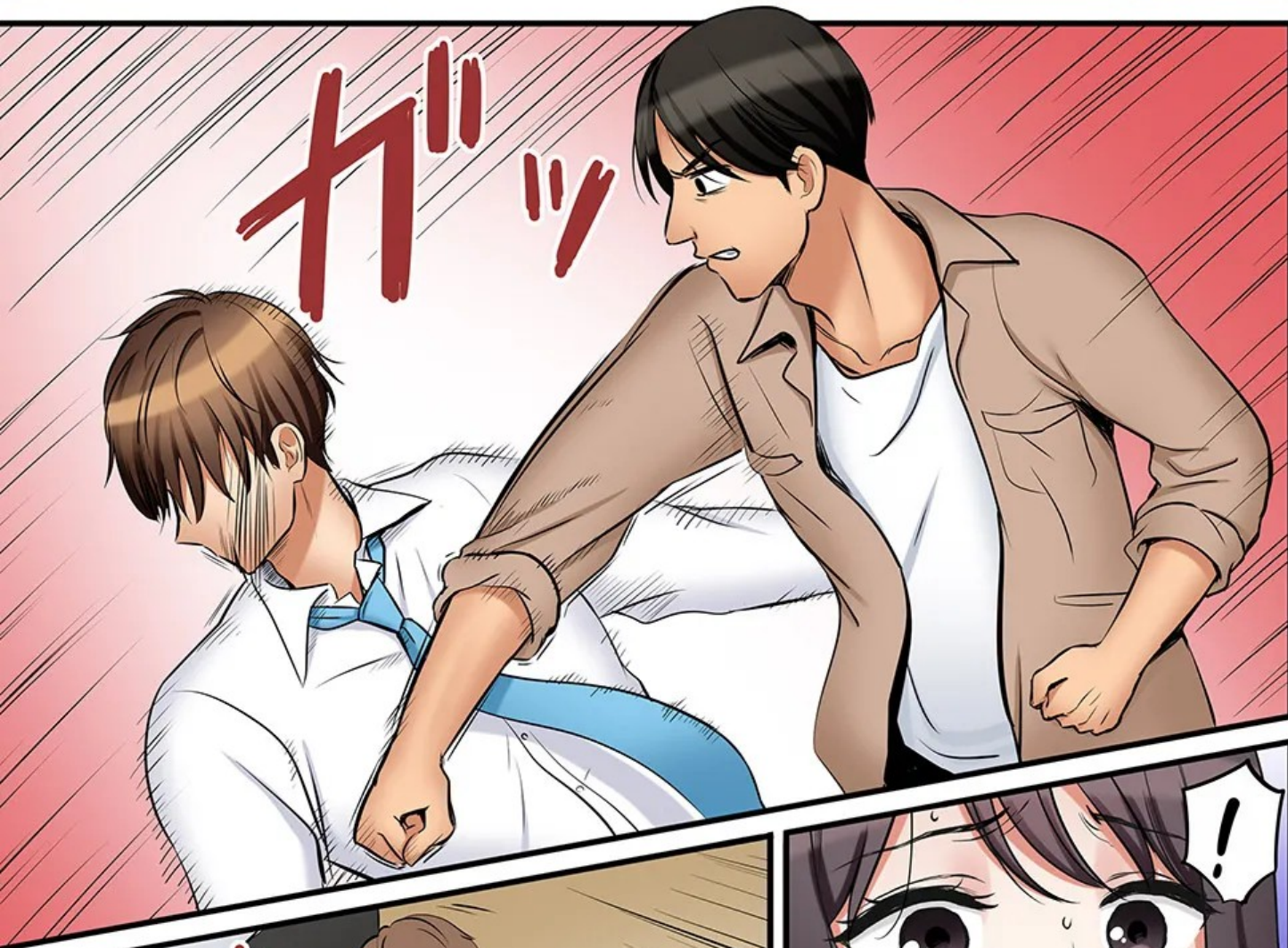
戻ったの

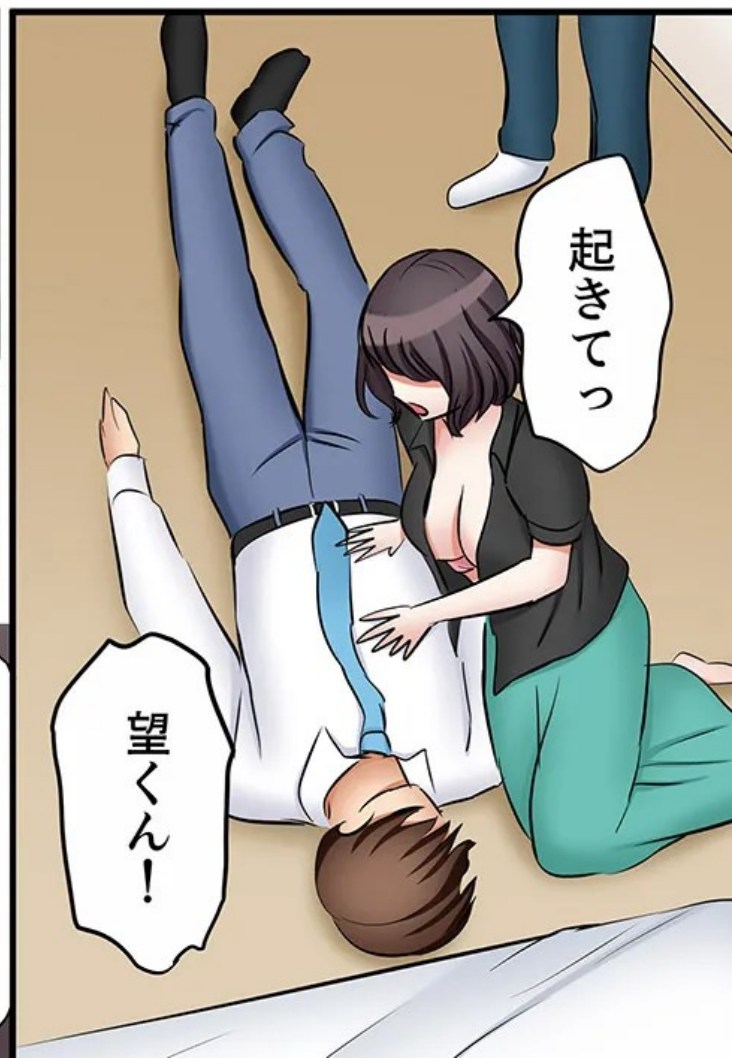
記憶が



良かった

そっか…







僕が  
捕まっちゃろう  
じゃないか…!!

救急車なんて  
呼んだら

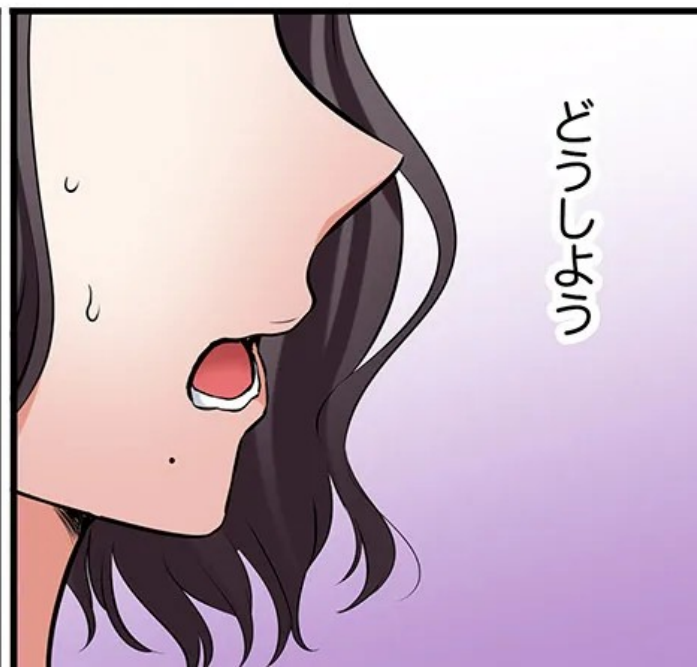


うるさい

あっ



意識が  
ないから  
早く病院へ  
連れて  
行かないとっ



私が学さんと  
出会わなければ…



いや…それよりもっと前



私が  
あのファミレスで  
働かなければ…




この人と  
知り合っ  
て  
なければ…




俺と  
結婚してくれて

ありがとな

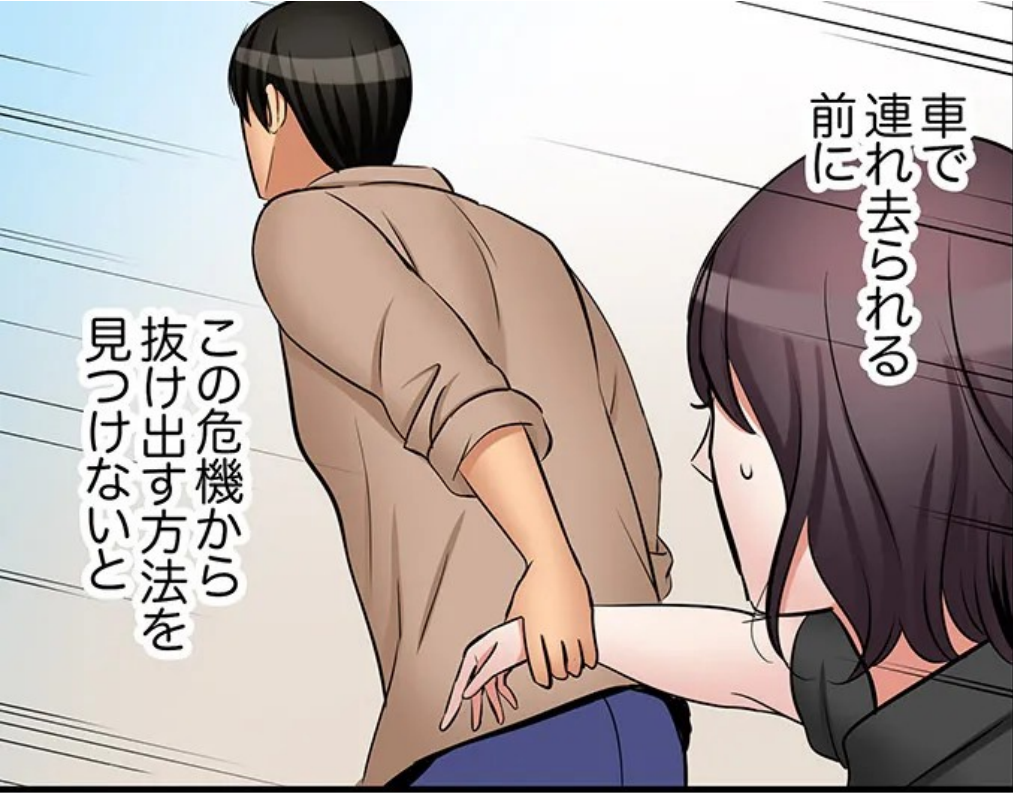


そんなこと  
思っちやダメ！



学さんとの  
結婚生活が

私を成長させて  
くれたんだから



車で  
連れ去られる  
前に

この危機から  
抜け出す方法を  
見つけないと



なんとかしないと

ドク

ドク

ドク



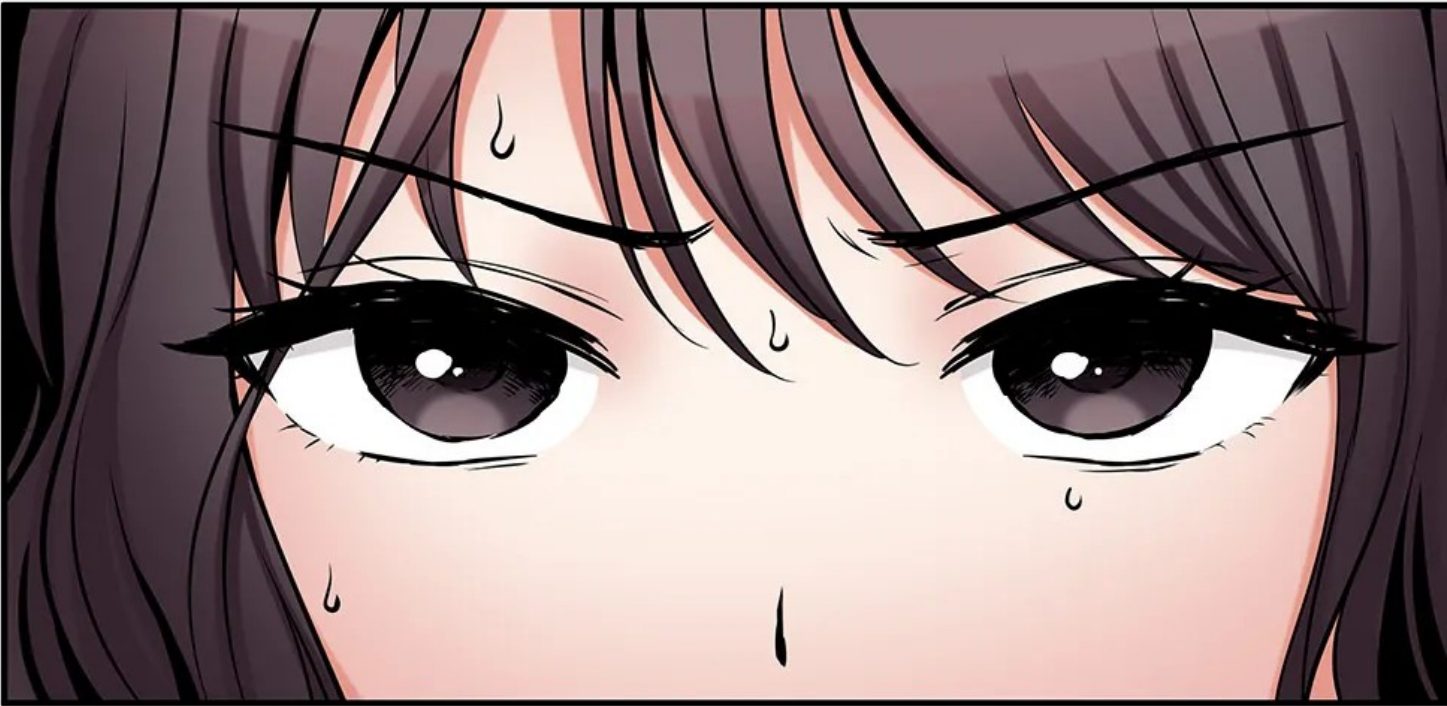
もし  
失敗したら

今度こそ  
この人に  
殺されそう  
だけど…



一刻も早く  
望くんを  
病院で診て  
もらわないと！

望くんは



私が守る

# 「あと3回はイケるよね？」 夫の帰宅前、絶倫義弟に何度も ハメ倒される妻63

著者

七色風香

発行

モバイルメディアリサーチ

この物語はフィクションです。  
登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。  
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、  
ホームページ上に転載することを禁止します。  
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。  
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©Fuka Nanashiki/MMR

「あとの回は

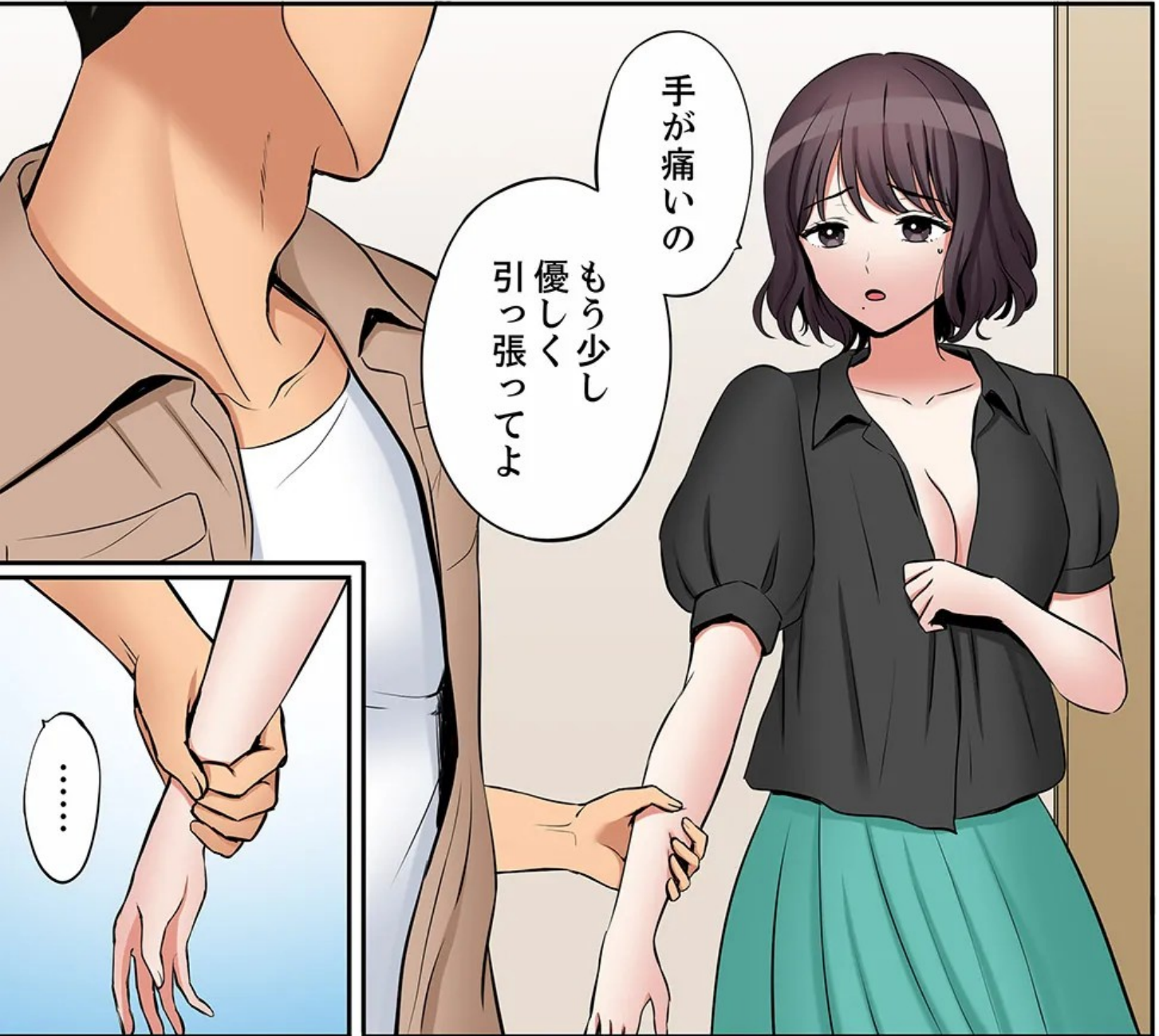
イケるよね？」

夫の帰宅前、絶倫義弟に何度もハメ倒される妻

64

七色風香







君はあの男が  
好きなんだろ？

だって…



私のこと  
疑ってるの？



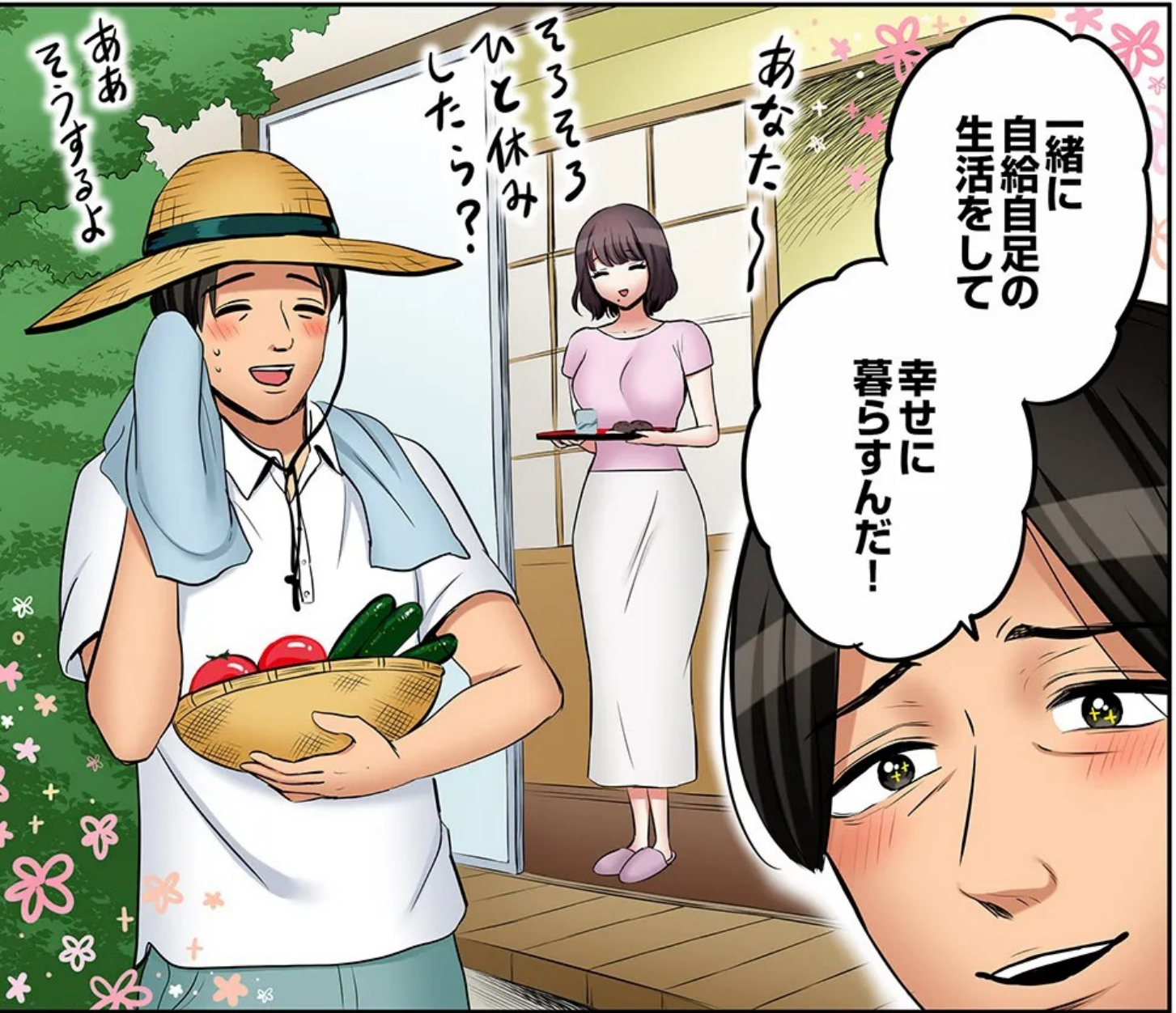
えっ！

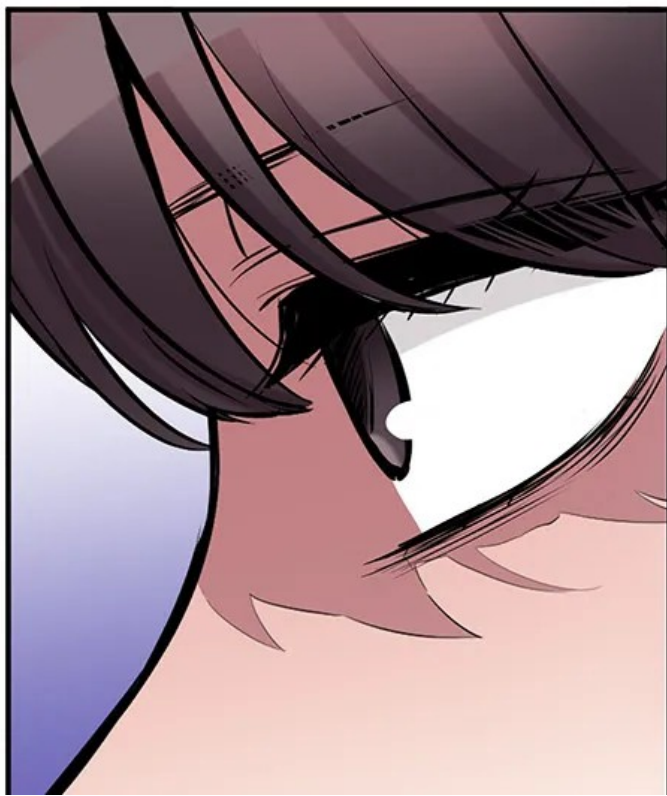
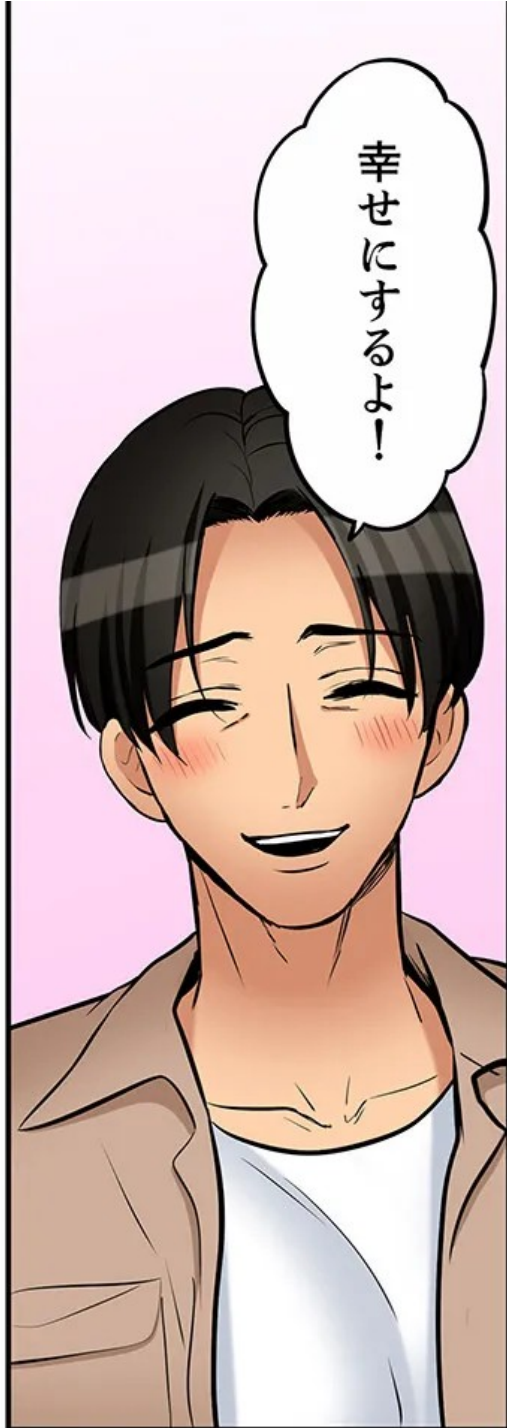
田村さんのこと  
好きに  
なっちゃった

さっきの  
闘いぶりを  
見て

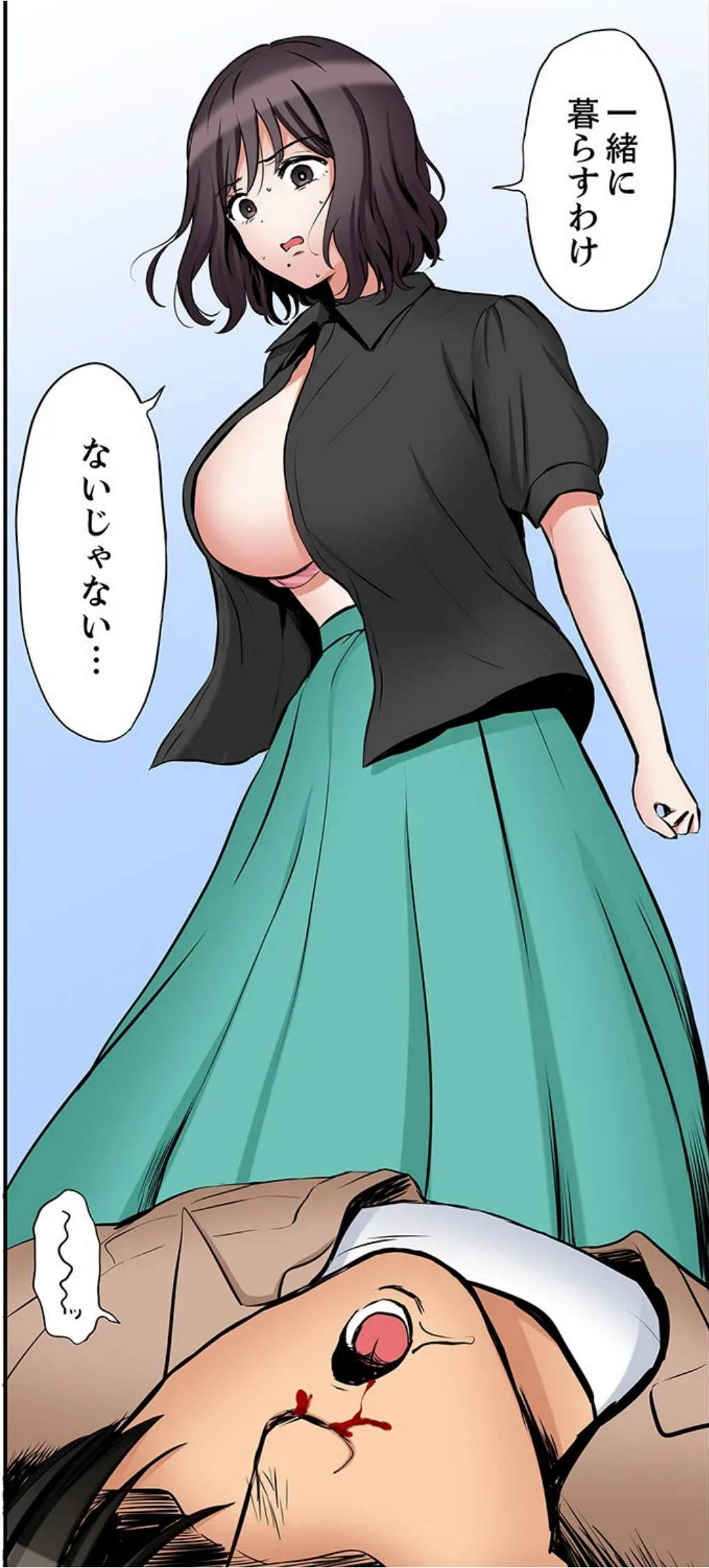


私  
強い男の人が  
好きなの  
すっ

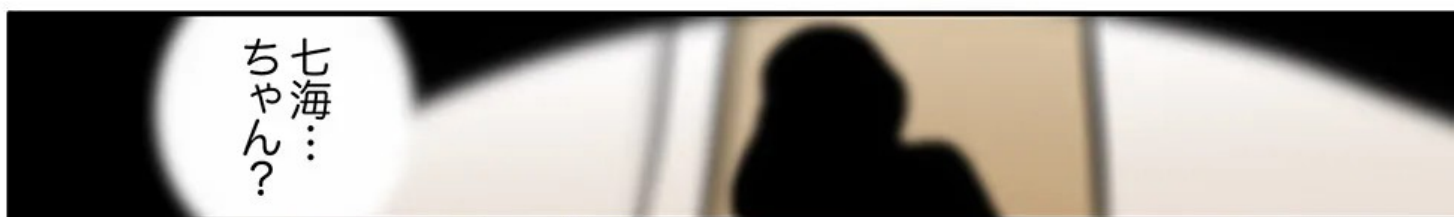
















大丈夫だ  
生きてる

お前の入院で  
必要なものを  
家へ取りに行った



あの男は...?

七海が  
通報して

駆け付けた  
警察官に  
逮捕された



警察にも  
随分  
抵抗していた  
らしい...

はなせよ!

せんぶ  
あの女が  
悪いんだ...

.....





無責任にも  
ほどがある

俺から七海を  
奪って  
おきながら



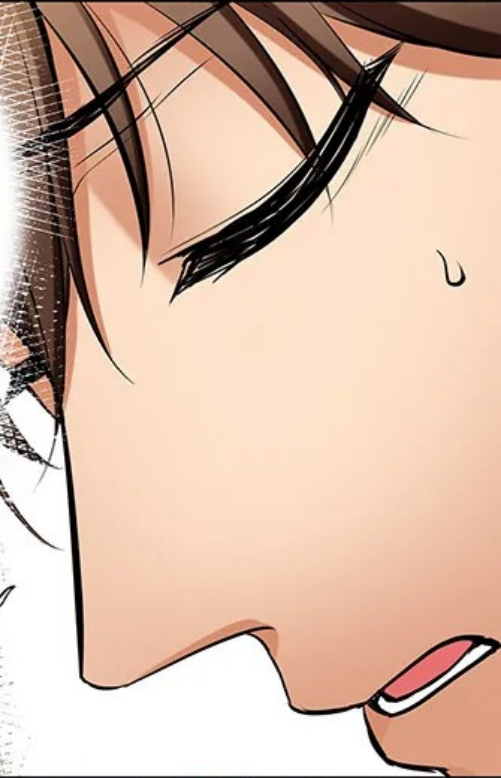
ほんとだよな〜

ギゅむっ



七海のこと  
頼んだぞ

ごめん…



は？

ぽっ

今のは  
冗談だ





そんなに  
自分を責めるな

体張って七海を  
守ろうとしたのは  
お前だろ



ガラ...

兄貴



ガッ!

担当医を  
呼んでくる

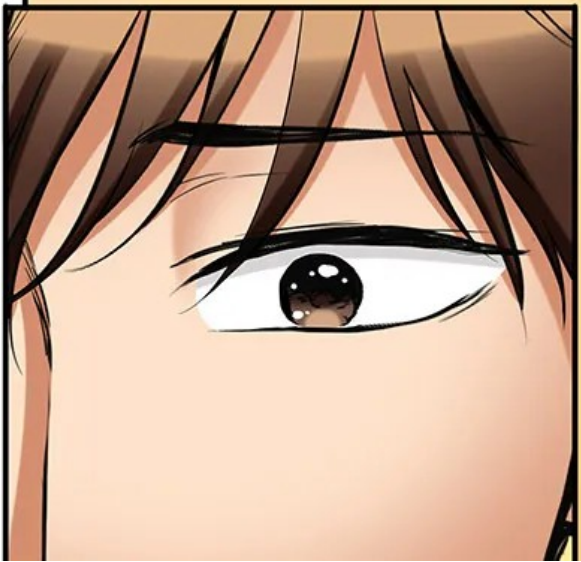


来てくれて  
ありがとうな



兄弟だからな

そりゃ…







かちや  
ただいま〜

あら

二人とも  
お利口に  
してたー？

キーン

……

ガシヤ



キーン  
のぞ

猫が  
やったんだ

え？  
くい



そ…  
そういうば  
洗濯物  
取り込んだ後  
開けっ放し  
だったかも…

ヤダ不用心



うちは  
猫なんて  
飼ってない  
けど？

リビングの  
窓が開いてて  
そこから  
侵入した  
みたいだよ

それで花瓶を  
落として  
外へ出て  
行ったんだ



洗濯物  
汚されて  
ないかしらッ

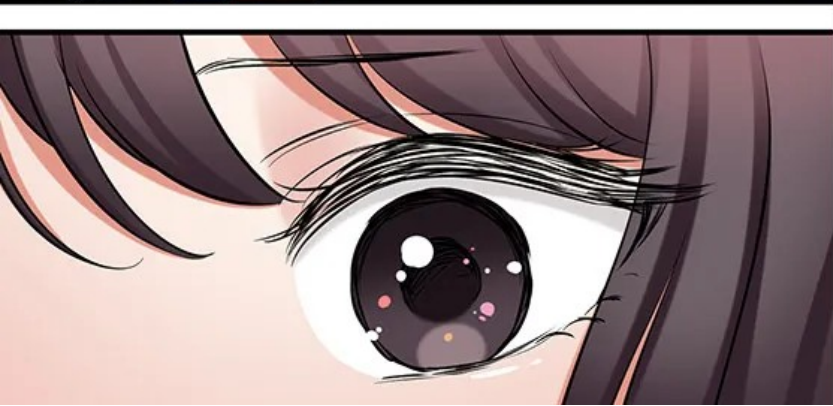
トッ  
バツ







七海ちゃん…



玲奈ちゃん  
そろそろ  
塾終わる  
時間だろ  
早く  
迎えに行こう



うん…!



良かった…！

このまま  
目が覚めない  
かと思っ  
て…



怖かった…



「記憶が  
戻ったの」



うん…



良かった



七海ちゃん  
はどこも  
怪我してない？



ごめん



俺が  
あんなこと  
しなければ

二人は  
今も…

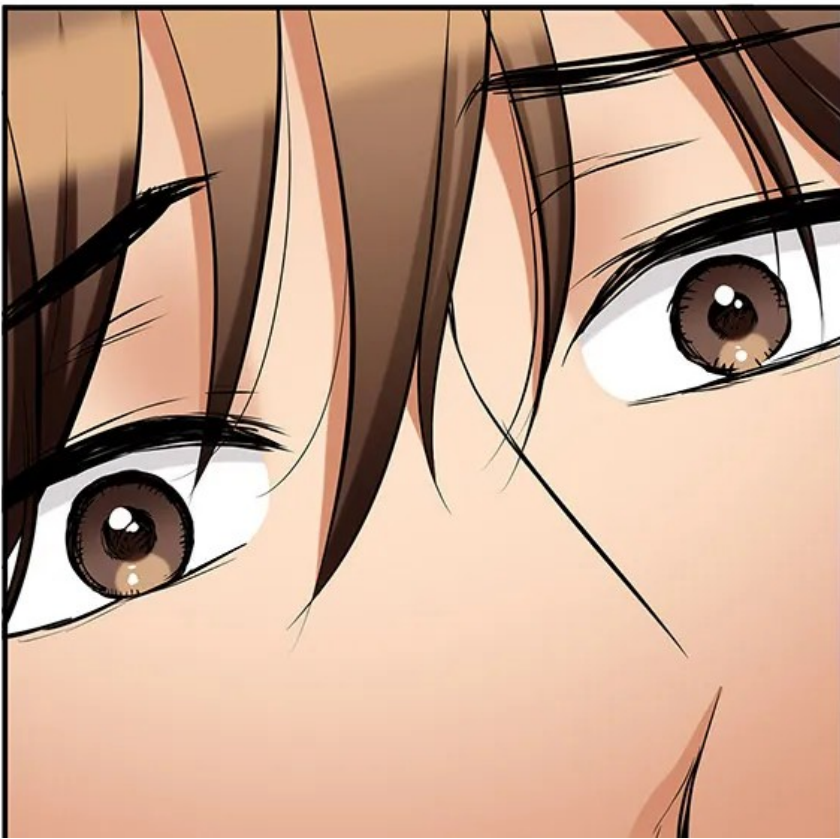
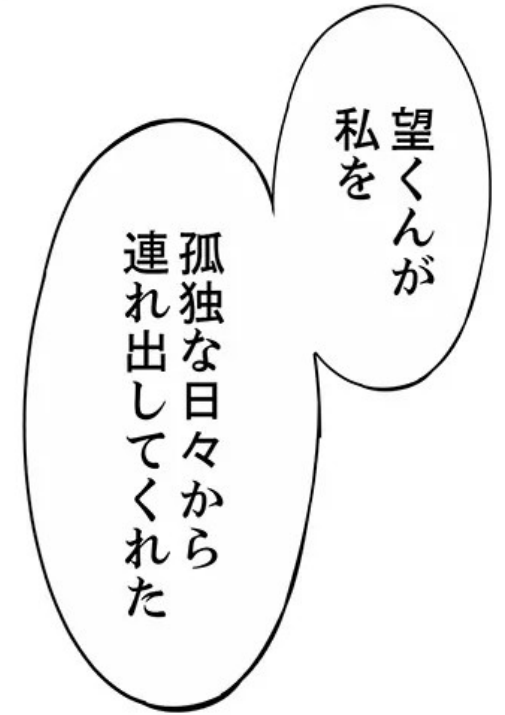
ギョッ

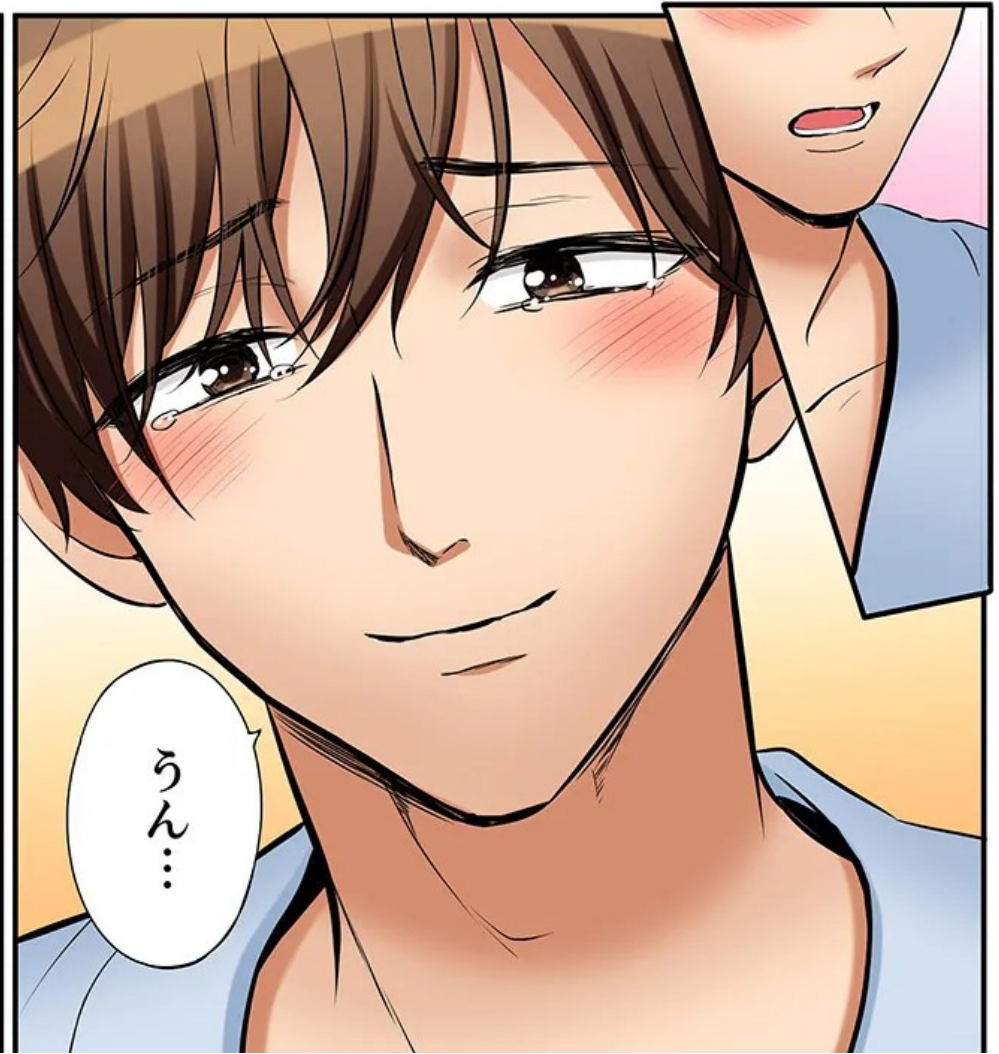


俺は…

君と兄貴の  
人生を  
滅茶苦茶にした









# 「あと3回はイケるよね？」 夫の帰宅前、絶倫義弟に何度も ハメ倒される妻64

著者

七色風香

発行

モバイルメディアリサーチ

この物語はフィクションです。  
登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。  
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、  
ホームページ上に転載することを禁止します。  
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。  
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©Fuka Nanashiki/MMR